

注3 大学番号 014

設置年度 平成 31年度  
計画の区分： 学部の設置  
注1

**意見伺い**

福島大学 農学群 食農学類  
注2

## 【意見伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 福島大学  
令和3年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	フクカチョウ キムラマツミ 副課長・木村真美
電話番号	024-548-8006
（夜間）	同上
e-mail	s-soumu@adb.fukushima-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 農学群

＜食農学類＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	25
5. 教員組織の状況	26
6. 附帯事項等に対する履行状況等	49
7. その他全般的事項	50

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人福島大学

## (2) 大学名

福島大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒960-1296  
福島県福島市金谷川1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナカイ カツミ) 中井勝己 (平成30年4月)	(ミウラ ヒロキ) 三浦浩喜 (令和2年4月)	学長変更のため 令和2年4月1日(2)
学部長	(ショウゲンジ シンイチ) 生源寺真一 (平成31年4月)	該当なし	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
農学群 食農学類 学士（農学）	農学関係	年 4	人 100	年次	人 400		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度						平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 100 [ - ]	人 -	人 100 [ - ]	人 -	人 100 [ - ]	人 -					1.04 倍	一倍	
志願者数	502 ( - ) [ 7 ]	- ( - ) [ - ]	311 ( - ) [ 10 ]	- ( - ) [ - ]	371 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]							
受験者数	316 ( - ) [ 6 ]	- ( - ) [ - ]	175 ( - ) [ 10 ]	- ( - ) [ - ]	221 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]							
合格者数	119 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	110 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	115 ( - ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]							
B 入学者数	108 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	100 ( - ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	104 ( - ) [ 0 ]	- ( - ) [ - ]							
入学定員超過率 B/A	1.08		1.00		1.04								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度						備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	108 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	100 [ 2 ] ( - )	- [ - ] ( - )	104 [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2 年次	/		108 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	101 [ 2 ] (2)	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3 年次			/		/		106 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )
4 年次	/						/		/		[ ] ( )
計			108 [ 1 ] ( - )	208 [ 3 ] ( - )	311 [ 3 ] (2)	[ ] ( )					[ ] ( )

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	108 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	208 人	1 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学(1人)
令和3年度	311 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
合計		1 人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{108} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{208} = \boxed{0.48} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{311} = \boxed{0} \%$$

$$\frac{\quad}{\quad} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

$$\frac{\quad}{\quad} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<農学群 食農学類>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
【基盤教育科目】													
接続領域科目	フリースタートアップ小計(1科目)	1前	2			3	5						
	トネイフマ	1前	2			1							
	キャリア形成論	1前	2			1							
	健康運動科学実習	1前	1									2	
	小計(2科目)	—	3	0	0	1						2	
シヨニケコ	英語A I	1前・後	2									4	
	英語A II	1前・後	2									4	
	小計(2科目)	—	4	0	0							4	
	倫理学	1前	2									1	
	心理学	1前	2									1	
学術基礎科目・人文科学分野	言語・文学	1前	2									1	
	音楽	1前	2									1	
	美術	1後	2									1	
	教育と文化	1後	2									1	
	ヒトのこころの仕組みと進化	1後	2									1	
	脳神経と精神保健	1後	2									1	
	小計(8科目)	—	0	16	0							8	
	学術基礎科目・社会科学分野	経済学	1前	2									1
		地理学	1前	2									1
		社会論	1前	2									1
ジェンダー学入門		1前	2									1	
政治学		1後	2									1	
歴史学		1後	2									1	
日本国憲法		1後	2									1	
市民と法		1後	2									1	
農業と人間		1前	2			1							
小計(9科目)		—	0	18	0	1						8	
学術基礎科目・自然科学分野	自然と技術 I	1前	2									1	
	自然と技術 II	1前	2									1	
	食と健康	1前	2			1							
	自然と技術 III	1後	2									1	
	自然と技術 IV	1後	2									1	
	食品の機能	1後	2			1							
	医学概論	1後	2									1	
小計(7科目)	—	0	14	0	1	1					5		
目キャリア設計科	キャリアモデル学習	2前	2			2	2						
	インターンシップ	3前・後	1			3	1						
	小計(2科目)	—	2	1	0	3	2						
目運動健康科	スポーツ実習	1後	1									2	
	小計(1科目)	—	0	1	0							2	
外国語科目	英語B I	2前・後	2									4	
	英語B II	2前・後	2									4	
	応用英語	3前	1									1	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
【基盤教育科目】												
接続領域科目	フリースタートアップ小計(1科目)	1前	2			3	5					
	トネイフマ	1前	2			1						
	キャリア形成論	1前	2			1						
	健康運動科学実習	1前	1									3
	小計(2科目)	—	3	0	0	1						3
シヨニケコ	英語A I	1前・後	2									3
	英語A II	1前・後	2									4
	小計(2科目)	—	4	0	0							7
	倫理学	1後	2									2
	心理学 I	1前	2									1
学術基礎科目・人文科学分野	言語・文学 I (未開講)	1後	2									1
	音楽	1後	2									1
	美術	1前	2									1
	教育と文化 (未開講)	1後	2									1
	ことばの仕組み	1後	2									1
	精神疾患とその治療	1前	2									1
	哲学 I	1後	2									1
	心理学 II	1後	2									1
	言語・文学 II	1後	2									2
	小計(11科目)	—	0	22	0							13
学術基礎科目・社会科学分野	経済学 I	1後	2									1
	地理学 I (未開講)	1前	2									1
	社会論	1後	2									1
	ジェンダー学入門 (未開講)	1前	2									1
	政治学 (未開講)	1後	2									1
	歴史学 II	1後	2									3
	日本国憲法	1後	2									2
	市民と法	1前	2									1
	農業と人間	1後	2			1						
	地域論 I	1前	2									1
	経済学 II	1前	2									1
	若者・学校・社会	1前	2									2
小計(12科目)	—	0	24	0	1						15	
学術基礎科目・自然科学分野	環境の科学	1前	2									1
	ちからとうごき	1後	2									1
	食と健康	1前	2			1						
	物質の科学	1後	2									1
	生命の科学	1後	2									1
	食品の機能	1前	2			1						
	人体の構造と機能及び疾病(医学概論)	1後	2									1
小計(7科目)	—	0	14	0	1	1					5	
目キャリア設計科	キャリアモデル学習	2前	2			1	2					
	知的財産の基礎知識	2後	2									1
	データサイエンス入門	2後	2									3
	インターンシップ	3前・後	1			2	1					
小計(4科目)	—	2	5	0	2	2					4	
目運動健康科	スポーツ実習	1後	1									3
	小計(1科目)	—	0	1	0							3
外国語科目	英語B I	2前・後	2									3
	英語B II	2前・後	2									3
	応用英語 X I	1前	1									1
	応用英語 X III	1前	1									1
	応用英語 X V	1前	1									1
	応用英語 X VII	1前	1									1
	応用英語 X IX	1前	1									1
応用英語 X II	1後	1									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養領域科目	外国語科目	基礎外国語(理工系)(ドイツ語)	1前・後	2							1
		応用外国語(理工系)(ドイツ語)	2前・後	2							1
		基礎外国語(理工系)(フランス語)	1前・後	2							1
		応用外国語(理工系)(フランス語)	2前・後	2							1
		基礎外国語(理工系)(中国語)	1前・後	2							1
		応用外国語(理工系)(中国語)	2前・後	2							1
		基礎外国語(理工系)(ロシア語)	1前・後	2							1
		応用外国語(理工系)(ロシア語)	2前・後	2							1
		基礎外国語(理工系)(韓国朝鮮語)	1前・後	2							1
		応用外国語(理工系)(韓国朝鮮語)	2前・後	2							1
	日本語 I a	1前	1								1
	日本語 I b	1前	1								1
	日本語 II a	1後	1								1
	日本語 II b	1後	1								1
	日本語 III a	2前	1								1
	日本語 III b	2前	1								1
	日本語 IV a	2後	1								1
	日本語 IV b	2後	1								1
	小計(21科目)	-	0	33	0						10
科目情報	情報リテラシー	1前	2								1
	小計(1科目)	-	0	2	0						1
問題探究領域科目	問題探究科目	問題探究科目 I	1前	2							1
		問題探究科目 II	1前	2							1
		問題探究科目 III	1前	2							1
		問題探究科目 IV	1前	2							1
		問題探究科目 V	1前	2							1
		問題探究科目 VI	1前	2							1
		問題探究科目 VII	1後	2							1
		問題探究科目 VIII	1後	2							1
		問題探究科目 IX	1後	2							1
		問題探究科目 X	1後	2							1
	震災農村復興論	1後	2		1	1					
福島のブランド農業	1後	2		2	2						
小計(12科目)	-	0	24	0	1	3				10	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養領域科目	外国語科目	応用英語 X IV	1後	1								1	
		応用英語 X VI	1後	1								1	
		応用英語 X VII	1後	1								1	
		応用英語 X X	1後	1								1	
		ドイツ語基礎 I	1前	1								3	
		ドイツ語基礎 II	1後	1								3	
		ドイツ語応用 I	2前	1								2	
		ドイツ語応用 II	2後	1								2	
		フランス語基礎 I	1前	1								2	
		フランス語基礎 II	1後	1								2	
		フランス語応用 I	2前	1								2	
		フランス語応用 II	2後	1								2	
		中国語基礎 I	1前	1								4	
		中国語基礎 II	1後	1								4	
		中国語応用 I	2前	1								5	
		中国語応用 II	2後	1								5	
		ロシア語基礎 I	1前	1								1	
		ロシア語基礎 II	1後	1								1	
		ロシア語応用 I	2前	1								2	
		ロシア語応用 II	2後	1								2	
		韓国朝鮮語基礎 I	1前	1								2	
		韓国朝鮮語基礎 II	1後	1								2	
		韓国朝鮮語応用 I	2前	1								2	
		韓国朝鮮語応用 II	2後	1								2	
		ドイツ語基礎(特設) I	1前	1								2	
		ドイツ語基礎(特設) II	1後	1								2	
		フランス語基礎(特設) I	1前	1								1	
		フランス語基礎(特設) II	1後	1								1	
		中国語基礎(特設) I	1前	1								3	
		中国語基礎(特設) II	1後	1								3	
		ロシア語基礎(特設) I	1前	1								1	
		ロシア語基礎(特設) II	1後	1								1	
		韓国朝鮮語基礎(特設) I	1前	1								2	
		韓国朝鮮語基礎(特設) II	1後	1								2	
		小計(42科目)	-	0	44	0						27	
		日本語科目	日本語 I A	1前	1								1
			日本語 I B	1前	1								1
			日本語 II A	1後	1								1
			日本語 II B	1後	1								1
			日本語 III A	2前	1								1
			日本語 III B	2前	1								1
			日本語 IV A	2後	1								1
日本語 IV B	2後		1								1		
小計(8科目)	-		0	8	0						1		
日本事情	日本事情 III	1前	2								1		
	日本事情 IV	1後	2								1		
小計(2科目)	-	0	4	0						1			
科目情報	情報リテラシー	1前・後	2								5		
小計(1科目)	-	0	2	0						5			
問題探究領域科目	問題探究科目	ふくしま未来学入門 II	1後	2							2		
		災害復興支援学 II	1後	2							1		
		グローバル災害論	1前	2							1		
		成年年齢引き下げと政策的課題	1前	2							1		
		NPO論	1後	2							1		
		哲学カフェ	1前	2							1		
		再生可能エネルギー	1後	2							3		
		環境放射能学入門	1後	2							8		
		大学で学ぶ	1前	2							1		
		セルフラーニングデザイン論(本講義)	1後	2							1		
		立ち直り支援と地域社会	1前	2							1		
		ボランティア論	1前	2							1		
		映画の世界・映画と世界	1後	2							1		
		ふくしま未来学入門 I	1前	2							2		
		評価論入門	1後	2							1		
		アジア共同体構想	1後	2							1		
		むらの大学	1後	2							2		
		データ分析入門	1後	2							1		
		震災農村復興論	1後	2		1	1						
		福島のブランド農業	1前	2		2	2						
小計(20科目)	-	0	40	0	1	3				24			





科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
コース 生産環境学 コース	農業機械学	2後	1			1							
	森林保護学	3前	2			1							
	農村計画学	3前	2		1								
	スマート農業論	3前	2			1							
	森林育成学	3前	2			1							
	森林利用学	3前	2			1							
	土壌物理学	3前	2		1								
	生産環境学実験・実習Ⅰ	3前	2			3	2						
	農業リモートセンシング	3前	2			1							
	土壌生態学	3後	2			1							
	土質力学	3後	2			1							
	野生動物管理学	3後	1				1						
	生産環境学実験・実習Ⅱ	3後	2			2	4						
	森林生態学	4前	2										1
小計(20科目)	—	8	29	0	3	7						1	
コース 農業経営学 コース	農業経済学	2後	2			1							
	フードシステム論	2後	2			1							
	農産物流論	2後	2			1							
	農業政策学	2後	2		1								
	社会計画論	2後	2										1
	協同組合学	2後	2		1								
	農林資源経済論	3前	2			1							
	食品マーケティング論	3前	2		1								
	環境経済学	3前	2										1
	農業経営学演習Ⅰ	3前	4			3	4						
	アグリビジネス論	3後	2			1	1						
農業経営学演習Ⅱ	3後	4			3	4							
小計(12科目)	—	8	20	0	4	4						2	
演習 科目 共通	食農実践演習Ⅰ	2後	2			17	21						
	食農実践演習Ⅱ	3前	4			17	21						
	食農科学英語演習	3前	2			2	1						
	食農実践演習Ⅲ	3後	4			17	21						
小計(4科目)	—	12	0	0	17	21							
卒業 研究 科目	卒業研究基礎演習	3後	1			17	21						
	卒業研究演習Ⅰ	4前	2			17	21						
	卒業研究演習Ⅱ	4後	2			17	21						
	卒業論文(4)	4後	4			17	21						
小計(4科目)	—	9	0	0	17	21							
合計(158科目)	—	76	232	0	17	21						45	
卒業要件及び履修方法													
(卒業要件)													
基盤教育科目34単位、専門教育科目88単位、自由選択科目2単位、合計124単位													
<基盤教育科目>													
(接続領域)													
スタートアップセミナー2単位、キャリア形成論2単位、健康運動科学実習1単位、外国語コミュニケーション科目・英語4単位の合計9単位必修													
(教養領域)													
学術基礎科目:人文科学分野から2単位選択、社会科学分野から2単位選択、自然科学分野から2単位、合計6単位選択													
キャリア設計科目:キャリアモデル学習2単位必修													
外国語科目:4単位選択													
小計12単位													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
コース 生産環境学 コース	農業機械学	2後	1			1							
	森林保護学	3前	2			1							
	農村計画学	3前	2		1								
	スマート農業論	3前	2			1							
	森林育成学	3前	2			1							
	森林利用学	3前	2			1							
	土壌物理学	3前	2		1								
	生産環境学実験・実習Ⅰ	3前	2			3	1						
	農業リモートセンシング	3前	2			1							
	土壌生態学	3後	2			1							
	土質力学	3後	2			1							
	野生動物管理学	3後	1				1						
	生産環境学実験・実習Ⅱ	3後	2			2	3						
	森林生態学	4前	2										1
小計(20科目)	—	8	29	0	3	6						2	
コース 農業経営学 コース	農業経済学	2後	2			1							
	フードシステム論	2後	2			1							
	農産物流論	2後	2			1							
	農業政策学	2後	2		1								
	社会計画論	2後	2										1
	協同組合学	2後	2		1								
	農林資源経済論	3前	2			1							
	食品マーケティング論	3前	2		1								
	環境経済学	3前	2										1
	農業経営学演習Ⅰ	3前	4			3	4						
	アグリビジネス論	3後	2			1	1						
農業経営学演習Ⅱ	3後	4			3	4							
農業簿記論	3前	2										8	
小計(13科目)	—	8	20	0	4	4						10	
演習 科目 共通	食農実践演習Ⅰ	2後	2			16	21						
	食農実践演習Ⅱ	3前	4			16	21						
	食農科学英語演習	3前	2			2	1						
	食農実践演習Ⅲ	3後	4			16	21						
小計(4科目)	—	12	0	0	16	21							
卒業 研究 科目	卒業研究基礎演習	3後	1			16	21						
	卒業研究演習Ⅰ	4前	2			16	21						
	卒業研究演習Ⅱ	4後	2			16	21						
	卒業論文(4)	4後	4			16	21						
小計(4科目)	—	9	0	0	16	21							
合計(207科目)	—	76	288	0	16	21						123	
卒業要件及び履修方法													
(卒業要件)													
基盤教育科目34単位、専門教育科目88単位、自由選択科目2単位、合計124単位													
<基盤教育科目>													
(接続領域)													
スタートアップセミナー2単位、キャリア形成論2単位、健康運動科学実習1単位、外国語コミュニケーション科目・英語4単位の合計9単位必修													
(教養領域)													
学術基礎科目:人文科学分野から2単位選択、社会科学分野から2単位選択、自然科学分野から2単位、合計6単位選択													
キャリア設計科目:キャリアモデル学習2単位必修													
外国語科目:4単位選択													
小計12単位													

(問題探究領域)  
問題探究科目から2単位選択、問題探究セミナー(農場基礎実習Ⅱ)2単位必修  
小計4単位  
(教養領域・問題探究領域)  
上記の単位数に加え、教養領域科目、問題探究領域からさらに9単位選択

**【食品科学コース】**  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修43単位、選択45単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択  
 (学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」  
 「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林  
 特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上  
 14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修4単位(「食品科学実験Ⅰ」「食品科学実験Ⅱ」)  
 ・「食品機能学Ⅰ」「食品加工学Ⅰ」「発酵・醸造学Ⅰ」「食品素材  
 科学」「生物化学」「有機化学概論」「分析化学概論」「食品機能  
 学Ⅱ」「食品加工学Ⅱ」「発酵・醸造学Ⅱ」「食品衛生管理学」  
 「食品保蔵学」「食品分析学」「植物栄養学(農業生産学コース  
 専門科目)」「栄養機能科学」「農地再生論(農業生産学コース  
 専門科目)」「フードシステム論(農業経営学コース専門科目)」「  
 食品マーケティング論(農業経営学コース専門科目)」から12  
 科目24単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目  
 (全コース)から3単位選択  
 (学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、  
 基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに  
 2単位選択

**【農業生産学コース】**  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修43単位、選択45単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択  
 (学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」  
 「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林  
 特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上  
 14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修4単位(「農業生産学実験・実習Ⅰ」  
 「農業生産学実験・実習Ⅱ」)  
 ・「作物育種学」「稲作学」「蔬菜・花き園芸学」「果樹園芸学」  
 「農産物流通論(農業経営学コース専門科目)」「里山管理論  
 (生産環境学コース専門科目)」「植物病理学」「飼料資源学」  
 「応用昆虫学」「植物栄養学」「環境保全型農業論」「スマート  
 農業論(生産環境学コース専門科目)」「農地再生論」「病害  
 虫管理学」「食品加工学Ⅰ(食品科学コース専門科目)」「土  
 壌生態学(生産環境学コース専門科目)」から12科目24単  
 位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目  
 (全コース)から3単位選択  
 (学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、  
 基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに  
 2単位選択

**【生産環境学コース】**  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修47単位、選択41単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(問題探究領域)  
問題探究科目から2単位選択、問題探究セミナー(農場基礎実習Ⅱ)2単位必修  
小計4単位  
(教養領域・問題探究領域)  
上記の単位数に加え、教養領域科目、問題探究領域からさらに9単位選択

**【食品科学コース】**  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修43単位、選択45単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択  
 (学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」  
 「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林  
 特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上  
 14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修4単位(「食品科学実験Ⅰ」「食品科学実験Ⅱ」)  
 ・「食品機能学Ⅰ」「食品加工学Ⅰ」「発酵・醸造学Ⅰ」「食品素材  
 科学」「生物化学」「有機化学概論」「分析化学概論」「食品機能  
 学Ⅱ」「食品加工学Ⅱ」「発酵・醸造学Ⅱ」「食品衛生管理学」  
 「食品保蔵学」「食品分析学」「植物栄養学(農業生産学コース  
 専門科目)」「栄養機能科学」「農地再生論(農業生産学コース  
 専門科目)」「フードシステム論(農業経営学コース専門科目)」「  
 食品マーケティング論(農業経営学コース専門科目)」から12  
 科目24単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目  
 (全コース)から3単位選択  
 (学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、  
 基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに  
 2単位選択

**【農業生産学コース】**  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修43単位、選択45単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択  
 (学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」  
 「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林  
 特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上  
 14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修4単位(「農業生産学実験・実習Ⅰ」  
 「農業生産学実験・実習Ⅱ」)  
 ・「作物育種学」「稲作学」「蔬菜・花き園芸学」「果樹園芸学」  
 「農産物流通論(農業経営学コース専門科目)」「里山管理論  
 (生産環境学コース専門科目)」「植物病理学」「飼料資源学」  
 「応用昆虫学」「植物栄養学」「環境保全型農業論」「スマート  
 農業論(生産環境学コース専門科目)」「農地再生論」「病害  
 虫管理学」「食品加工学Ⅰ(食品科学コース専門科目)」「土  
 壌生態学(生産環境学コース専門科目)」から12科目24単  
 位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目  
 (全コース)から3単位選択  
 (学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、  
 基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに  
 2単位選択

**【生産環境学コース】**  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修47単位、選択41単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修8単位(「測量学」「測量・GIS実習」「生産環境学実験・実習Ⅰ」「生産環境学実験・実習Ⅱ」)  
 ・「水資源利用学」「里山管理論」「樹木学」「農業情報論」1単位「農業機械学」1単位「森林保護学」「農村計画学」「スマート農業論」「農業リモートセンシング」「森林利用学」「土壌物理学」「森林育成学」「土質力学」「土壌生態学」「野生動物管理学」1単位「森林生態学」から10科目以上20単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに2単位選択

【農業経営学コース】  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修47単位、選択41単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修8単位  
 (「農業経営学演習Ⅰ」4単位「農業経営学演習Ⅱ」4単位)  
 ・「農業経済学」「フードシステム論」「農産物流通論」「農業政策学」「協同組合学」「社会計画論」「農林資源経済論」「食品マーケティング論」「スマート農業論(生産環境学コース専門科目)」「農村計画学(生産環境学コース専門科目)」「環境経済学」「アグリビジネス論」「稲作学(農業生産学コース専門科目)」から10科目以上20単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに2単位選択

【履修科目の登録の上限】24単位(各学期) ※但し、前後期開講科目については後期履修登録扱いとすることができる。また、教職科目、集中講義は上限数から除かれる。

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修8単位(「測量学」「測量・GIS実習」「生産環境学実験・実習Ⅰ」「生産環境学実験・実習Ⅱ」)  
 ・「水資源利用学」「里山管理論」「樹木学」「農業情報論」1単位「農業機械学」1単位「森林保護学」「農村計画学」「スマート農業論」「農業リモートセンシング」「森林利用学」「土壌物理学」「森林育成学」「土質力学」「土壌生態学」「野生動物管理学」1単位「森林生態学」から10科目以上20単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに2単位選択

【農業経営学コース】  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修47単位、選択41単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修8単位  
 (「農業経営学演習Ⅰ」4単位「農業経営学演習Ⅱ」4単位)  
 ・「農業経済学」「フードシステム論」「農産物流通論」「農業政策学」「協同組合学」「社会計画論」「農林資源経済論」「食品マーケティング論」「スマート農業論(生産環境学コース専門科目)」「農村計画学(生産環境学コース専門科目)」「環境経済学」「農業簿記論」「アグリビジネス論」「稲作学(農業生産学コース専門科目)」から11科目以上20単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに2単位選択

【履修科目の登録の上限】24単位(各学期) ※但し、前後期開講科目については後期履修登録扱いとすることができる。また、教職科目、集中講義は上限数から除かれる。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
【基盤教育科目】											
接続領域科目	スタートアップセミナー 小計(1科目)	1前 —	2 2	0 0	0 0	3 3	5 5				
	キャリア形成論	1前	2			1					
	健康運動科学実習	1前	1								3
	小計(2科目)	—	3	0	0	1					3
外国語科目	英語A I	1前・後	2								3
	英語A II	1前・後	2								3
	小計(2科目)	—	4	0	0						5
教養領域科目	倫理学	1前	2								1
	心理学 I 01	1前	2								1
	言語・文学 I	1後	2								1
	音楽	1後	2								1
	美術	1後	2								1
	教育と文化	1後	2								1
	ことばの仕組み	1前	2								1
	精神疾患とその治療	1前	2								1
	哲学 I	1後	2								1
	心理学 I 02	1後	2								1
	心理学 II	1後	2								1
	小計(11科目)	—	0	22	0						11
	経済学 I	1後	2								1
	地理学 I	1後	2								1
	社会論	1前	2								1
ジェンダー学入門(未開講)	1前	2								1	
政治学(未開講)	1後	2								1	
歴史学 II	1後	2								1	
日本国憲法01	1後	2								1	
地域論 I	1前	2								1	
日本国憲法02	1後	2								1	
市民と法	1前	2								1	
農業と人間	1後	2			1						
小計(11科目)	—	0	22	0	1					10	
環境の科学	1後	2								1	
ちからとうごき	1後	2								1	
食と健康	1前	2			1						
物質の科学01	1前	2								1	
生命の科学	1後	2								1	
食品の機能	1前	2			1						
小計(7科目)	—	0	14	0	1	1				5	
キャリアモデル学習	2前	2			2	2					
インターンシップ	3前・後	1			3	1					
小計(2科目)	—	2	1	0	3	2					
スポーツ実習	1後	1									2
小計(1科目)	—	0	1	0							2
英語B I	2前・後	2									4
英語B II	2前・後	2									4
応用英語 X I	1前	1									1
応用英語 X III	1前	1									1
応用英語 X V	1前	1									1
応用英語 X VII	1前	1									1
応用英語 X IX	1前	1									1
応用英語 X II	1後	1									1

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
【基盤教育科目】											
接続領域科目	スタートアップセミナー 小計(1科目)	1前 —	2 2	0 0	0 0	3 3	5 5				
	キャリア形成論	1前	2			1					
	健康運動科学実習	1前	1								3
	小計(2科目)	—	3	0	0	1					3
外国語科目	英語A I	1前・後	2								4
	英語A II	1前・後	2								4
	小計(2科目)	—	4	0	0						8
教養領域科目	倫理学	1後	2								2
	心理学 I	1前	2								1
	言語・文学 I (未開講)	1後	2								1
	音楽(未開講)	1後	2								1
	美術	1後	2								1
	教育と文化(未開講)	1後	2								1
	ことばの仕組み	1前	2								1
	精神疾患とその治療	1前	2								1
	哲学 I (未開講)	1後	2								1
	心理学 II	1後	2								3
	心理学 II	1後	2								1
	言語・文学 III	1前	2								3
	言語・文学 II	1後	2								3
	哲学 II	1後	2								1
	小計(13科目)	—	0	26	0						18
経済学 I (未開講)	1後	2								1	
地理学 I (未開講)	1後	2								1	
社会論(未開講)	1前	2								1	
ジェンダー学入門	1前	2								1	
政治学	1前	2								1	
歴史学 II	1後	2								1	
日本国憲法	1後	2								2	
地域論 I (未開講)	1前	2								1	
経営学	1前	2								1	
市民と法(未開講)	1後	2								1	
経済学 II	1前	2								1	
歴史学 I	1前	2								3	
農業と人間	1後	2			1						
小計(13科目)	—	0	26	0	1					15	
環境の科学	1後	2									3
ちからとうごき	1後	2								1	
食と健康	1前	2				1					
物質の科学	1前	2								1	
生命の科学(未開講)	1後	2								1	
食品の機能	1前	2			1						
教養の数学	1前	2								1	
マセマティカル・サイエンス	1前	2								1	
小計(9科目)	—	0	18	0	1	1				9	
キャリアモデル学習	2前	2			2	2					
知的財産の基礎知識	2後	1				1	3				1
データサイエンス入門	2後	1									2
インターンシップ	3前・後	1									2
小計(4科目)	—	2	3	0	2	3					3
スポーツ実習	1後	1									3
小計(1科目)	—	0	1	0							3
英語B I	2前・後	2									3
英語B II	2前・後	2									3
応用英語 X I	1前	1									1
応用英語 X III	1前	1									1
応用英語 X V	1前	1									1
応用英語 X VII	1前	1									1
応用英語 X IX	1前	1									1
応用英語 X II	1後	1									1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
教養領域科目	外国語科目	応用英語Ⅳ	1後	1						1
		応用英語Ⅵ	1後	1						1
		応用英語Ⅶ	1後	1						1
		応用英語Ⅹ	1後	1						1
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1						3
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1						2
		応用外国語(理工系)(ドイツ語)	2前-後	2						1
		フランス語基礎Ⅰ	1前	1						2
		フランス語基礎Ⅱ	1後	1						2
		応用外国語(理工系)(フランス語)	2前-後	2						1
		中国語基礎Ⅰ	1前	1						3
		中国語基礎Ⅱ	1後	1						2
		応用外国語(理工系)(中国語)	2前-後	2						1
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1						1
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1						1
		応用外国語(理工系)(ロシア語)	2前-後	2						1
		韓国朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1						1
		韓国朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1						1
		応用外国語(理工系)(韓国朝鮮語)	2前-後	2						1
		ドイツ語基礎(特設)Ⅰ	1前	1						2
		ドイツ語基礎(特設)Ⅱ	1後	1						2
		フランス語基礎(特設)Ⅰ	1前	1						1
		フランス語基礎(特設)Ⅱ	1後	1						1
	中国語基礎(特設)Ⅰ	1前	1						2	
	中国語基礎(特設)Ⅱ	1後	1						2	
	ロシア語基礎(特設)Ⅰ	1前	1						1	
	ロシア語基礎(特設)Ⅱ	1後	1						1	
	韓国朝鮮語基礎(特設)Ⅰ	1前	1						1	
	韓国朝鮮語基礎(特設)Ⅱ	1後	1						1	
	小計(37科目)	-	0	44	0					23
	日本語科目	日本語ⅠA	1前	1						1
		日本語ⅠB	1前	1						1
		日本語ⅡA	1後	1						1
		日本語ⅡB	1後	1						1
		日本語Ⅲa	2前	1						1
		日本語Ⅲb	2前	1						1
		日本語Ⅳa	2後	1						1
		日本語Ⅳb	2後	1						1
	小計(8科目)	-	0	8	0					1
	日本事情	日本事情Ⅲ	1前	1						1
		日本事情Ⅳ	1後	1						1
		小計(2科目)	-	0	2	0				
	科目情報	情報リテラシー	1前-後	2						5
	小計(1科目)	-	0	2	0					5
	問題探究領域科目	問題探究科目	ふくしま未来学入門Ⅱ	1後	2					
災害復興支援学Ⅱ			1後	2						1
グローバル災害論			1前	2						1
成年年齢引き下げと政策的課題			1前	2						1
NPO論			1後	2						1
哲学カフェ			1後	2						1
再生可能エネルギー			1後	2						5
放射線入門			1後	2						3
大学で学ぶ			1前	2						1
セルフラーニングデザイン論			1後	2						1
ボランティア論			1前	2						1
大学生のための現代社会			1前	2						1
映画の世界・映画と世界			1前	2						1
ふくしま未来学入門Ⅰ			1前	2						1
評価論入門			1後	2						1
アジア共同体構想			1後	2						1
むらの大学			1後	2						1
震災農村復興論			1後	2		1	1			
福島ブランド農業			1前	2			2			
小計(19科目)		-	0	38	0	1	3			15

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
教養領域科目	外国語科目	応用英語Ⅳ	1後	1						1
		応用英語Ⅵ	1後	1						1
		応用英語Ⅶ	1後	1						1
		応用英語Ⅹ	1後	1						1
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1						3
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1						3
		応用外国語(理工系)(ドイツ語)	2前-後	2						1
		フランス語基礎Ⅰ	1前	1						2
		フランス語基礎Ⅱ	1後	1						2
		応用外国語(理工系)(フランス語)	2前-後	2						1
		中国語基礎Ⅰ	1前	1						2
		中国語基礎Ⅱ	1後	1						2
		応用外国語(理工系)(中国語)	2前-後	2						1
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1						5
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1						5
		応用外国語(理工系)(ロシア語)	2前-後	2						4
		韓国朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1						4
		韓国朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1						4
		応用外国語(理工系)(韓国朝鮮語)	2前-後	2						1
		ドイツ語基礎(特設)Ⅰ	1前	1						2
		ドイツ語基礎(特設)Ⅱ	1後	1						2
		フランス語基礎(特設)Ⅰ	1前	1						2
		フランス語基礎(特設)Ⅱ	1後	1						2
	中国語基礎(特設)Ⅰ	1前	1						3	
	中国語基礎(特設)Ⅱ	1後	1						3	
	ロシア語基礎(特設)Ⅰ	1前	1						1	
	ロシア語基礎(特設)Ⅱ	1後	1						1	
	韓国朝鮮語基礎(特設)Ⅰ	1前	1						1	
	韓国朝鮮語基礎(特設)Ⅱ	1後	1						1	
	小計(42科目)	-	0	44	0					31
	日本語科目	日本語ⅠA	1前	1						1
		日本語ⅠB	1前	1						1
		日本語ⅡA	1後	1						1
		日本語ⅡB	1後	1						1
		日本語ⅢA	2前	1						1
		日本語ⅢB	2前	1						1
		日本語ⅣA	2後	1						1
		日本語ⅣB	2後	1						1
	小計(8科目)	-	0	8	0					1
	日本事情	日本事情Ⅲ(未開講)	1前	2						1
		日本事情Ⅳ(未開講)	1後	2						1
		日本事情Ⅰ	1前	2						1
	日本事情Ⅱ	1後	2						1	
	小計(4科目)	-	0	8	0					1
	科目情報	情報リテラシー	1前-後	2						5
小計(1科目)	-	0	2	0					5	
問題探究領域科目	問題探究科目	ふくしま未来学入門Ⅱ	1後	2						1
		災害復興支援学Ⅱ	1後	2						1
		グローバル災害論	1後	2						1
		成年年齢引き下げと政策的課題	1後	2						1
		NPO論(未開講)	1前	2						1
		哲学カフェ	1前	2						1
		再生可能エネルギー	1後	2						5
		放射線入門(未開講)	1後	2						3
		大学で学ぶ	1前	2						1
		セルフラーニングデザイン論(未開講)	1後	2						1
		ボランティア論(未開講)	1前	2						1
		大学生のための現代社会(未開講)	1前	2						1
		映画の世界・映画と世界(未開講)	1前	2						1
		ふくしま未来学入門Ⅰ	1前	2						1
		評価論入門	1後	2						1
		アジア共同体構想	1後	2						1
		むらの大学	1後	2						1
		生活探求演習	1前	2						1
		環境放射線学入門	1後	2						8
	震災農村復興論	1後	2		1	1				
	福島ブランド農業	1前	2			2				
	小計(21科目)	-	0	42	0	1	3			29



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
コース 生産環境学コース	農業機械学	2後	1			1								
	森林保護学	3前	2			1								
	農村計画学	3前	2		1									
	スマート農業論	3前	2			1								
	森林育成学	3前	2			1								
	森林利用学	3前	2			1								
	土壌物理学	3前	2		1									
	生産環境学実験・実習Ⅰ	3前	2			3	2							
	農業リモートセンシング	3前	2			1								
	土壌生態学	3後	2			1								
	土質力学	3後	2			1								
	野生動物管理学	3後	1				1							
	生産環境学実験・実習Ⅱ	3後	2			2	4							
	森林生態学	4前	2										1	
	小計(20科目)	—	8	29	0	3	7						1	
	コース 農業経営学コース	農業経済学	2後	2			1							
		フードシステム論	2後	2			1							
		農産物流論	2後	2			1							
		農業政策学	2後	2		1								
社会計画論		2後	2										1	
協同組合学		2後	2		1									
農林資源経済論		3前	2			1								
食品マーケティング論		3前	2		1									
環境経済学		3前	2										1	
農業経営学演習Ⅰ		3前	4			3	4							
アグリビジネス論	3後	2			1	1								
農業経営学演習Ⅱ	3後	4			3	4								
小計(12科目)	—	8	20	0	4	4						2		
演習類 科目共通	食農実践演習Ⅰ	2後	2			17	21							
	食農実践演習Ⅱ	3前	4			17	21							
	食農科学英語演習	3前	2			2	1							
	食農実践演習Ⅲ	3後	4			17	21							
小計(4科目)	—	12	0	0	17	21								
卒業 研究 科目	卒業研究基礎演習	3後	1			17	21							
	卒業研究演習Ⅰ	4前	2			17	21							
	卒業研究演習Ⅱ	4後	2			17	21							
	卒業論文(4)	4後	4			17	21							
小計(4科目)	—	9	0	0	17	21								
合計(196科目)	—	76	277	0	17	21						83		
卒業要件及び履修方法														
(卒業要件) 基盤教育科目34単位、専門教育科目88単位、自由選択科目2単位、合計124単位 <基盤教育科目> (接続領域) スタートアップセミナー2単位、キャリア形成論2単位、健康運動科学実習1単位、外国語コミュニケーション科目・英語4単位の合計9単位必修 (教養領域) 学術基礎科目:人文科学分野から2単位選択、社会科学分野から2単位選択、自然科学分野から2単位、合計6単位選択 キャリア設計科目:キャリアモデル学習2単位必修 外国語科目:4単位選択 小計12単位														

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
コース 生産環境学コース	農業機械学	2後	1			1								
	森林保護学	3前	2			1								
	農村計画学	3前	2		1									
	スマート農業論	3前	2			1								
	森林育成学	3前	2			1								
	森林利用学	3前	2			1								
	土壌物理学	3前	2		1									
	生産環境学実験・実習Ⅰ	3前	2			3	2							
	農業リモートセンシング	3前	2			1								
	土壌生態学	3後	2			1								
	土質力学	3後	2			1								
	野生動物管理学	3後	1				1							
	生産環境学実験・実習Ⅱ	3後	2			2	4							
	森林生態学	4前	2										1	
	小計(20科目)	—	8	29	0	3	7						1	
	コース 農業経営学コース	農業経済学	2後	2			1							
		フードシステム論	2後	2			1							
		農産物流論	2後	2			1							
		農業政策学	2後	2		1								
社会計画論		2後	2										1	
協同組合学		2後	2		1									
農林資源経済論		3前	2			1								
食品マーケティング論		3前	2		1									
環境経済学		3前	2										1	
農業経営学演習Ⅰ		3前	4			3	4							
アグリビジネス論	3後	2			1	1								
農業経営学演習Ⅱ	3後	4			3	4								
小計(12科目)	—	8	20	0	4	4						2		
演習類 科目共通	食農実践演習Ⅰ	2後	2			16	22							
	食農実践演習Ⅱ	3前	4			16	22							
	食農科学英語演習	3前	2			2	1							
	食農実践演習Ⅲ	3後	4			16	22							
小計(4科目)	—	12	0	0	16	22								
卒業 研究 科目	卒業研究基礎演習	3後	1			16	22							
	卒業研究演習Ⅰ	4前	2			16	22							
	卒業研究演習Ⅱ	4後	2			16	22							
	卒業論文(4)	4後	4			16	22							
小計(4科目)	—	9	0	0	16	22								
合計(213科目)	—	76	301	0	16	22						131		
卒業要件及び履修方法														
(卒業要件) 基盤教育科目34単位、専門教育科目88単位、自由選択科目2単位、合計124単位 <基盤教育科目> (接続領域) スタートアップセミナー2単位、キャリア形成論2単位、健康運動科学実習1単位、外国語コミュニケーション科目・英語4単位の合計9単位必修 (教養領域) 学術基礎科目:人文科学分野から2単位選択、社会科学分野から2単位選択、自然科学分野から2単位、合計6単位選択 キャリア設計科目:キャリアモデル学習2単位必修 外国語科目:4単位選択 小計12単位														



(問題探究領域)  
問題探究科目から2単位選択、問題探究セミナー(農場基礎実習Ⅱ)2単位必修  
小計4単位  
(教養領域・問題探究領域)  
上記の単位数に加え、教養領域科目、問題探究領域からさらに9単位選択

**【食品科学コース】**  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修43単位、選択45単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択  
 (学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」  
 「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修4単位(「食品科学実験Ⅰ」「食品科学実験Ⅱ」)  
 ・「食品機能学Ⅰ」「食品加工学Ⅰ」「発酵・醸造学Ⅰ」「食品素材科学」「生物化学」「有機化学概論」「分析化学概論」「食品機能学Ⅱ」「食品加工学Ⅱ」「発酵・醸造学Ⅱ」「食品衛生管理学」「食品保蔵学」「食品分析学」「植物栄養学(農業生産学コース専門科目)」「栄養機能科学」「農地再生論(農業生産学コース専門科目)」「フードシステム論(農業経営学コース専門科目)」「食品マーケティング論(農業経営学コース専門科目)」から12科目24単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目(全コース)から3単位選択  
 (学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに2単位選択

**【農業生産学コース】**  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修43単位、選択45単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択  
 (学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修4単位(「農業生産学実験・実習Ⅰ」「農業生産学実験・実習Ⅱ」)  
 ・「作物育種学」「稲作学」「蔬菜・花き園芸学」「果樹園芸学」「農産物流通論(農業経営学コース専門科目)」「里山管理論(生産環境学コース専門科目)」「植物病理学」「飼料資源学」「応用昆虫学」「植物栄養学」「環境保全型農業論」「スマート農業論(生産環境学コース専門科目)」「農地再生論」「病害虫管理学」「食品加工学Ⅰ(食品科学コース専門科目)」「土壌生態学(生産環境学コース専門科目)」から12科目24単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目(全コース)から3単位選択  
 (学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに2単位選択

**【生産環境学コース】**  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修47単位、選択41単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(問題探究領域)  
問題探究科目から2単位選択、問題探究セミナー(農場基礎実習Ⅱ)2単位必修  
小計4単位  
(教養領域・問題探究領域)  
上記の単位数に加え、教養領域科目、問題探究領域からさらに9単位選択

**【食品科学コース】**  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修43単位、選択45単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択  
 (学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修4単位(「食品科学実験Ⅰ」「食品科学実験Ⅱ」)  
 ・「食品機能学Ⅰ」「食品加工学Ⅰ」「発酵・醸造学Ⅰ」「食品素材科学」「生物化学」「有機化学概論」「分析化学概論」「食品機能学Ⅱ」「食品加工学Ⅱ」「発酵・醸造学Ⅱ」「食品衛生管理学」「食品保蔵学」「食品分析学」「植物栄養学(農業生産学コース専門科目)」「栄養機能科学」「農地再生論(農業生産学コース専門科目)」「フードシステム論(農業経営学コース専門科目)」「食品マーケティング論(農業経営学コース専門科目)」から12科目24単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目(全コース)から3単位選択  
 (学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに2単位選択

**【農業生産学コース】**  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修43単位、選択45単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択  
 (学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修4単位(「農業生産学実験・実習Ⅰ」「農業生産学実験・実習Ⅱ」)  
 ・「作物育種学」「稲作学」「蔬菜・花き園芸学」「果樹園芸学」「農産物流通論(農業経営学コース専門科目)」「里山管理論(生産環境学コース専門科目)」「植物病理学」「飼料資源学」「応用昆虫学」「植物栄養学」「環境保全型農業論」「スマート農業論(生産環境学コース専門科目)」「農地再生論」「病害虫管理学」「食品加工学Ⅰ(食品科学コース専門科目)」「土壌生態学(生産環境学コース専門科目)」から12科目24単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目(全コース)から3単位選択  
 (学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに2単位選択

**【生産環境学コース】**  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修47単位、選択41単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修8単位(「測量学」「測量・GIS実習」「生産環境学実験・実習Ⅰ」「生産環境学実験・実習Ⅱ」)  
 ・「水資源利用学」「里山管理論」「樹木学」「農業情報論」1単位「農業機械学」1単位「森林保護学」「農村計画学」「スマート農業論」「農業リモートセンシング」「森林利用学」「土壌物理学」「森林育成学」「土質力学」「土壌生態学」「野生動物管理学」1単位「森林生態学」から10科目以上20単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに2単位選択

【農業経営学コース】  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修47単位、選択41単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修8単位  
 (「農業経営学演習Ⅰ」4単位「農業経営学演習Ⅱ」4単位)  
 ・「農業経済学」「フードシステム論」「農産物流通論」「農業政策学」「協同組合学」「社会計画論」「農林資源経済論」「食品マーケティング論」「スマート農業論(生産環境学コース専門科目)」「農村計画学(生産環境学コース専門科目)」「環境経済学」「アグリビジネス論」「稲作学(農業生産学コース専門科目)」から10科目以上20単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに2単位選択

【履修科目の登録の上限】 24単位(各学期) ※但し、前後期開講科目については後期履修登録扱いとすることができる。また、教職科目、集中講義は上限数から除かれる。

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修8単位(「測量学」「測量・GIS実習」「生産環境学実験・実習Ⅰ」「生産環境学実験・実習Ⅱ」)  
 ・「水資源利用学」「里山管理論」「樹木学」「農業情報論」1単位「農業機械学」1単位「森林保護学」「農村計画学」「スマート農業論」「農業リモートセンシング」「森林利用学」「土壌物理学」「森林育成学」「土質力学」「土壌生態学」「野生動物管理学」1単位「森林生態学」から10科目以上20単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに2単位選択

【農業経営学コース】  
 <基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)  
 <専門教育科目> 88単位(必修47単位、選択41単位)  
 (学類共通専門基礎科目・数理リテラシー)8単位  
 ・必修4単位  
 ・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位  
 ・必修14単位  
 「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上14単位選択

(コース専門科目) 28単位  
 ・必修8単位  
 (「農業経営学演習Ⅰ」4単位「農業経営学演習Ⅱ」4単位)  
 ・「農業経済学」「フードシステム論」「農産物流通論」「農業政策学」「協同組合学」「社会計画論」「農林資源経済論」「食品マーケティング論」「スマート農業論(生産環境学コース専門科目)」「農村計画学(生産環境学コース専門科目)」「環境経済学」「アグリビジネス論」「稲作学(農業生産学コース専門科目)」から10科目以上20単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)  
 上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目) 12単位(必修)  
 (卒業研究科目) 9単位(必修)  
 <自由選択科目> 2単位  
 上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに2単位選択

【履修科目の登録の上限】 24単位(各学期) ※但し、前後期開講科目については後期履修登録扱いとすることができる。また、教職科目、集中講義は上限数から除かれる。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

【基盤教育科目 接続領域科目 関連】

- ・教育の充実の理由により、「健康運動科学実習」の兼任・兼担の配置を、「2」から「3」に変更。
- ・カリキュラム改革により、「英語AⅠ」の兼任・兼担の配置を、「4」から「3」に変更。
- ・カリキュラム改革により、「英語AⅡ」の兼任・兼担の配置を、「4」から「3」に変更。

【基盤教育科目 教養領域科目 学術基礎科目・人文科学分野 関連】

- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「心理学」から「心理学01」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「言語・文学」から「言語・文学Ⅰ」に変更。  
また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、「音楽」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「ヒトとことばの仕組みと進化」から「ことばの仕組み」に変更。  
また、配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「脳神経と精神保健」から「精神疾患とその治療」に変更。  
また、配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。
  - 「哲学Ⅰ」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）
  - 「心理学Ⅰ02」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）
  - 「心理学Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）

【基盤教育科目 教養領域科目 学術基礎科目・社会科学分野 関連】

- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「経済学」から「経済学Ⅰ」に変更。  
また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「地理学」から「地理学Ⅰ」に変更。  
また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「歴史学」から「歴史学Ⅱ」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本国憲法」から「日本国憲法01」に変更。
- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。
  - 「地域論Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）
  - 「日本国憲法02」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称「市民と法」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称「農業と人間」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。

【基盤教育科目 教養領域科目 学術基礎科目・自然科学分野 関連】

- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「自然と技術Ⅰ」から「環境の科学」に変更。  
また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「自然と技術Ⅱ」から「ちからとうごき」に変更。  
また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「自然と技術Ⅲ」から「物質の科学01」に変更。  
また、配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「自然と技術Ⅳ」から「生命の科学」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称「食品の機能」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「医学概論」から「人体の構造と機能及び疾病（医学概論）」に変更。

【基盤教育科目 教養領域科目 外国語科目 関連】

- ・教育の充実の理由により、「応用英語」を以下の授業科目に分割。
  - 「応用英語ⅩⅠ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「応用英語ⅩⅢ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「応用英語ⅩⅤ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「応用英語ⅩⅦ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「応用英語ⅩⅨ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「応用英語ⅩⅡ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
  - 「応用英語ⅩⅣ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
  - 「応用英語ⅩⅥ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
  - 「応用英語ⅩⅧ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
  - 「応用英語ⅩⅩ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
- ・カリキュラム改革により、「基礎外国語（理工系）（ドイツ語）」を以下の授業科目に分割。
  - 「ドイツ語基礎Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「ドイツ語基礎Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
- ・カリキュラム改革により、「基礎外国語（理工系）（フランス語）」を以下の授業科目に分割。
  - 「フランス語基礎Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「フランス語基礎Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
- ・カリキュラム改革により、「基礎外国語（理工系）（中国語）」を以下の授業科目に分割。
  - 「中国語基礎Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「中国語基礎Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
- ・カリキュラム改革により、「基礎外国語（理工系）（ロシア語）」を以下の授業科目に分割。
  - 「ロシア語基礎Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「ロシア語基礎Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
- ・カリキュラム改革により、「基礎外国語（理工系）（韓国朝鮮語）」を以下の授業科目に分割。
  - 「韓国朝鮮語基礎Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「韓国朝鮮語基礎Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）

- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。
  - 「ドイツ語基礎（特設）Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「ドイツ語基礎（特設）Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
  - 「フランス語基礎（特設）Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「フランス語基礎（特設）Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
  - 「中国語基礎（特設）Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「中国語基礎（特設）Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
  - 「ロシア語基礎（特設）Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「ロシア語基礎（特設）Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
  - 「韓国朝鮮語基礎（特設）Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「韓国朝鮮語基礎（特設）Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）

【基盤教育科目 教養領域科目 日本語科目 関連】

- ・教育内容の充実の理由より、教養領域科目中の日本語関連の科目区分として「日本語科目」を追加。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本語Ⅰa」から「日本語ⅠA」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本語Ⅰb」から「日本語ⅠB」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本語Ⅱa」から「日本語ⅡA」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本語Ⅱb」から「日本語ⅡB」に変更。

【基盤教育科目 教養領域科目 日本事情 関連】

- ・教育の充実の理由により、教養領域科目中の科目区分として「日本事情」を追加。
- ・教育の充実の理由により、「日本事情Ⅲ」を追加。
- ・教育の充実の理由により、「日本事情Ⅳ」を追加。

【基盤教育科目 問題探求領域科目 問題探求科目 関連】

- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目Ⅰ」から「ふくしま未来学入門Ⅱ」に変更。また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目Ⅱ」から「災害復興支援学Ⅱ」に変更。また、配当年次を「1前」から「1後」へ変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目Ⅲ」から「グローバル災害論」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目Ⅳ」から「成年年齢引き下げと政策的課題」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目Ⅴ」から「NPO論」に変更。また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目Ⅵ」から「哲学カフェ」に変更。また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目Ⅶ」から「再生可能エネルギー」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目Ⅷ」から「放射線入門」に変更。また、「兼任・兼任」の配置を「1」から「3」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目Ⅸ」から「大学で学ぶ」に変更。また、配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目Ⅹ」から「セルフラーニングデザイン論」に変更。
- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。
  - 「ボランティア論」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）
  - 「大学生のための現代社会」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）
  - 「映画の世界・映画と世界」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）
  - 「ふくしま未来学入門Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）
  - 「評価論入門」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）
  - 「アジア共同体構想」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）
  - 「むらの大学」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）
- ・カリキュラム改革により、「福島のブランド農業」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

## 【令和2年度】

### 【基盤教育科目 接続領域科目 関連】

- ・教育の充実により、「英語AⅠ」の兼任・兼任の配置を、「3」から「4」に変更。
- ・教育の充実により、「英語AⅡ」の兼任・兼任の配置を、「3」から「4」に変更。

### 【基盤教育科目 教養領域科目 学術基礎科目・人文科学分野 関連】

- ・教育の充実の理由により、授業科目の名称「倫理学」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育の充実の理由により、授業科目の名称「ことばの仕組み」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。
  - 「言語・文学Ⅲ」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）
  - 「言語・文学Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）
  - 「哲学Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）

### 【基盤教育科目 教養領域科目 学術基礎科目・社会科学分野 関連】

- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称「政治学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。
  - 「経済学Ⅱ」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）
  - 「歴史学Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）
  - 「経営学」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）

### 【基盤教育科目 教養領域科目 学術基礎科目・自然科学分野 関連】

- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。
  - 「教養の数学」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）
  - 「マセマティカル・サイエンス」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）

### 【基盤教育科目 教養領域科目 キャリア設計科目 関連】

- ・専任教員等の配置の変更により、授業科目の名称「キャリアモデル学習」の教授「2」から教授「1」、准教授「2」から准教授「3」に変更。
- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。
  - 「知的財産の基礎知識」（配当年次「2後」、単位数「選択1」）
  - 「データサイエンス入門」（配当年次「2後」、単位数「選択1」）
- ・専任教員等の配置変更により、授業科目の名称「インターンシップ」の教授「3」から教授「2」、准教授「1」から准教授「2」に変更。

### 【基盤教育科目 教養領域科目 外国語科目 関連】

- ・カリキュラム改革により、授業科目名称「英語BⅠ」及び「英語BⅡ」の兼任・兼任の配置を、「4」から「3」に変更。
- ・教育の充実の理由により、「ドイツ語基礎Ⅰ」「ドイツ語基礎Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「1」から「3」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目名称「応用外国語（理工系）（ドイツ語）」を以下の授業科目に分割。
  - 「ドイツ語応用Ⅰ」（配当年次「2前」、単位数「選択1」）
  - 「ドイツ語応用Ⅱ」（配当年次「2後」、単位数「選択1」）
- また、教育の充実の理由により、「ドイツ語応用Ⅰ」の兼任・兼任の配置を「1」から「3」に変更。「ドイツ語応用Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育の充実の理由により、「フランス語基礎Ⅰ」「フランス語基礎Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目名称「応用外国語（理工系）（フランス語）」を以下の授業科目に分割。
  - 「フランス語応用Ⅰ」（配当年次「2前」、単位数「選択1」）
  - 「フランス語応用Ⅱ」（配当年次「2後」、単位数「選択1」）
- また、教育の充実の理由により、「フランス語応用Ⅰ」「フランス語応用Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育の充実の理由により、「中国語基礎Ⅰ」「中国語基礎Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「1」から「5」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目名称「応用外国語（理工系）（中国語）」を以下の授業科目に分割。
  - 「中国語応用Ⅰ」（配当年次「2前」、単位数「選択1」）
  - 「中国語応用Ⅱ」（配当年次「2後」、単位数「選択1」）
- また、教育の充実の理由により、「中国語応用Ⅰ」「中国語応用Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「1」から「4」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目名称「基礎外国語（理工系）（ロシア語）」を以下の授業科目に分割。
  - 「ロシア語基礎Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「ロシア語基礎Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
- ・カリキュラム改革により、授業科目名称「応用外国語（理工系）（ロシア語）」を以下の授業科目に分割。
  - 「ロシア語応用Ⅰ」（配当年次「2前」、単位数「選択1」）
  - 「ロシア語応用Ⅱ」（配当年次「2後」、単位数「選択1」）
- また、教育の充実の理由により、「ロシア語応用Ⅰ」「ロシア語応用Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目名称「基礎外国語（理工系）（韓国朝鮮語）」を以下の授業科目に分割。
  - 「韓国朝鮮語基礎Ⅰ」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
  - 「韓国朝鮮語基礎Ⅱ」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
- また、教育の充実の理由により、「韓国朝鮮語基礎Ⅰ」「韓国朝鮮語基礎Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目名称「応用外国語（理工系）（韓国朝鮮語）」を以下の授業科目に分割。
  - 「韓国朝鮮語応用Ⅰ」（配当年次「2前」、単位数「選択1」）
  - 「韓国朝鮮語応用Ⅱ」（配当年次「2後」、単位数「選択1」）
- また、教育の充実の理由により、「韓国朝鮮語応用Ⅰ」「韓国朝鮮語応用Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育の充実の理由により、授業科目の名称「ドイツ語基礎（特設）Ⅰ」「ドイツ語基礎（特設）Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「2」から「3」に変更。
- ・教育の充実の理由により、授業科目の名称「中国語基礎（特設）Ⅰ」「中国語基礎（特設）Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「2」から「3」に変更。

### 【基盤教育科目 教養領域科目 日本語科目 関連】

- ・教育内容の充実の理由により、教養領域科目中の日本語関連の科目区分として「日本語科目」を追加。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本語Ⅲa」から「日本語ⅢA」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本語Ⅲb」から「日本語ⅢB」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本語Ⅳa」から「日本語ⅣA」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本語Ⅳb」から「日本語ⅣB」に変更。

### 【基盤教育科目 教養領域科目 日本事情 関連】

- ・教育の充実の理由により、「日本事情Ⅰ」を追加。
- ・教育の充実の理由により、「日本事情Ⅱ」を追加。

### 【基盤教育科目 教養領域科目 情報科目 関連】

- ・教育の充実の理由により、「情報リテラシー」の兼任・兼任の配置を「1」から「5」に変更。

- 【基盤教育科目 問題探求領域科目 問題探求科目 関連】
- ・教育の充実の理由により、授業科目の名称「再生可能エネルギー」の「兼任・兼任」の配置を「1」から「5」に変更。
  - ・教育の充実の理由により、授業科目の名称「哲学カフェ」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
  - ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。  
「生活探求演習」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）  
「環境放射能学入門」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）
- 【専門教育科目 学類共通専門基礎科目 農学リテラシー 関連】
- ・専任教員等の配置の変更により、授業科目の名称「食品科学概論」の教授「6」から教授「5」、准教授「4」から准教授「5」に変更。
- 【専門教育科目 コース専門科目 食品科学コース 関連】
- ・専任教員等の配置の変更により、授業科目の名称「発酵・醸造学Ⅰ」の教授「1」から准教授「1」に変更。
  - ・専任教員等の配置の変更により、授業科目の名称「食品科学実験Ⅰ」「食品科学実験Ⅱ」の教授「6」から教授「5」、准教授「4」から准教授「5」に変更。
- 【専門教育科目 コース専門科目 農業経営学コース 関連】
- ・開講時期の変更により、授業科目の名称「社会計画論」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- 【専門教育科目 学類共通演習科目 関連】
- ・専任教員等の配置の変更により、授業科目の名称「食農実践演習Ⅰ」「食農実践演習Ⅱ」「食農実践演習Ⅲ」の教授「17」から教授「16」に変更、准教授「21」から准教授「22」に変更。
- 【専門教育科目 卒業研究科目 関連】
- ・専任教員等の配置の変更により、授業科目の名称「卒業研究基礎演習」「卒業研究演習Ⅰ」「卒業研究演習Ⅱ」「卒業論文」の教授「17」から教授「16」に変更、准教授「21」から准教授「22」に変更。

- (注) ・ 2(1) —① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

## 【令和3年度】

### 【基盤教育科目 接続領域科目 関連】

- ・カリキュラム改革により、「英語AⅠ」の兼任・兼任の配置を、「4」から「3」に変更。

### 【基盤教育科目 教養領域科目 学術基礎科目・人文科学分野 関連】

- ・開講時期の変更により、「美術」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。

### 【基盤教育科目 教養領域科目 学術基礎科目・社会科学分野 関連】

- ・開講時期の変更により、「社会論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育の充実の理由により、「日本国憲法」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。  
「若者・学校・社会」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）

### 【基盤教育科目 教養領域科目 学術基礎科目・自然科学分野 関連】

- ・開講時期の変更により、「環境の科学」、「物質の科学」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。

### 【基盤教育科目 教養領域科目 キャリア設計科目 関連】

- ・専任教員等の配置の変更により、「キャリアモデル学習」の准教授「3」から准教授「2」に変更。
- ・教育の充実の理由により、「知的財産の基礎知識」、「データサイエンス入門」の単位数「選択1」から「選択2」に変更。
- ・専任教員等の配置変更により、「インターンシップ」の准教授「2」から准教授「1」に変更。

### 【基盤教育科目 教養領域科目 健康・運動科目 関連】

- ・教育の充実の理由により、「スポーツ実習」の兼任・兼任の配置を「2」から「3」に変更。

### 【基盤教育科目 教養領域科目 外国語科目 関連】

- ・カリキュラム改革により、「中国語基礎Ⅰ」「中国語基礎Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「5」から「4」に変更。
- ・教育の充実の理由により、「中国語応用Ⅰ」「中国語応用Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「4」から「5」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称「ドイツ語基礎（特設）Ⅰ」「ドイツ語基礎（特設）Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「3」から「2」に変更。
- ・教育の充実の理由により、授業科目の名称「韓国朝鮮語基礎（特設）Ⅰ」「韓国朝鮮語基礎（特設）Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。

### 【基盤教育科目 問題探求領域科目 問題探求科目 関連】

- ・カリキュラム改革により、授業科目名称を「放射線入門」から「環境放射能学入門」へ変更。
- ・教育の充実の理由により、「ふくしま未来学入門Ⅰ」「ふくしま未来学入門Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。
- ・開講時期の変更により、「映画の世界・映画と世界」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。  
「立ち直り支援と地域社会」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）  
「データ分析入門」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）

### 【基盤教育科目 問題探求領域科目 問題探求セミナー 関連】

- ・教育の充実の理由により、授業科目「自主学習プログラム」を追加。

### 【専門教育科目 学類共通専門基礎科目 農学リテラシー 関連】

- ・専任教員等の配置の変更により、「生産環境科学概論」の准教授「7」から准教授「6」に変更。
- 【専門教育科目 コース専門科目 生産環境学コース 関連】
- ・専任教員等の配置の変更により、「樹木学」、「森林育成学」の准教授「1」から准教授「0」に変更。兼任・兼任の配置を「0」から「1」に変更。
- ・専任教員等の配置の変更により、「生産環境学実験・実習Ⅰ」の准教授「2」から「1」に変更。
- ・専任教員等の配置の変更により、「生産環境学実験・実習Ⅱ」の准教授「4」から「3」に変更。
- 【専門教育科目 コース専門科目 農業経営学コース 関連】
- ・開講時期の変更により、授業科目の名称「社会計画論」の配当年次を「2後」から「3前」に変更。
- ・教育の充実の理由により、授業科目「農業簿記論」を追加。

### 【専門教育科目 学類共通演習科目 関連】

- ・専任教員等の配置の変更により、「食農実践演習Ⅰ」「食農実践演習Ⅱ」「食農実践演習Ⅲ」の准教授「22」から准教授「21」に変更。

### 【専門教育科目 卒業研究科目 関連】

- ・専任教員等の配置の変更により、授業科目の名称「卒業研究基礎演習」「卒業研究演習Ⅰ」「卒業研究演習Ⅱ」「卒業論文」の准教授「22」から准教授「21」に変更。

### 【卒業要件及び履修方法 農業経営学コース 関連】

- ・教育の充実の理由により、コース専門科目に授業科目「農業簿記論」を追加。

(注) ・ 2(1) - ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、

授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。

・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
34 科目	124 科目	0 科目	158 科目	34 科目 [ ]	173 科目 [ 49 ]	0 科目 [ ]	207 科目 [ 49 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	言語・文学Ⅰ	2	1後	一般	選択	隔年開講のため
2	教育と文化	2	1後	一般	選択	隔年開講のため
3	地理学Ⅰ	2	1前	一般	選択	隔年開講のため
4	ジェンダー学入門	2	1前	一般	選択	隔年開講のため
5	政治学	2	1後	一般	選択	隔年開講のため
6	セルフラーニングデザイン論	2	1後	一般	選択	隔年開講のため

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

他に選択できる科目が多く準備されているため、前後期で隔年開講科目が設定されていても学生に不利益は生じない。また、学生には時間割表にて周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{158} = \boxed{3.79} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	その他の内、 借地19,187㎡ を含む 借用期間：20年			
	校舎敷地	170,811㎡	0㎡	0㎡	170,811㎡				
	運動場用地	81,940㎡	0㎡	0㎡	81,940㎡				
	小 計	252,751㎡	0㎡	0㎡	252,751㎡				
	そ の 他	199,330㎡	0㎡	0㎡	199,330㎡				
	合 計	452,081㎡	0㎡	0㎡	452,081㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		76,079 76,106㎡ ( 76,079 71,493㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	76,079 76,106㎡ ( 76,079 71,493㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	34室	62室	95室	9室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		農学群		38 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本		
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点			
	農学群	950,000 [237,140] (958,833 [236,638] )- (944,203 )- (235,782) -)	13,714 [2,773] (13,522 [2,731]) - (13,694 )- (2,765) -)	9,000 [9,000] (21,064) [21,064] 9,132 - (9,132) -)	4,525 (4,657) (4,365)	0 (0)	0 (0)		
計	950,000 [237,140] (958,833 [236,638] )- (944,203 )- (235,782) -)	13,714 [2,773] (13,522 [2,731]) - (13,694 )- (2,765) -)	9,000 [9,000] (21,064) [21,064] 9,132 - (9,132) -)	4,525 (4,657) (4,365)	0 (0)	0 (0)			
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	10,084㎡	664席	1,113,194冊						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体			
	3,778㎡	陸上競技場、野球場、サッカー・ラグビー場、テニスコート、バレーボールコート、弓道場、ハンドボール場、水泳プール、馬術場							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	福島大学						1	0	備考		
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率		定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人文社会学群	4	685	3年次30	2,880		1.02	1.03				
人間発達文化学類	4	260	3年次10	1,070	学士(発達文化)	1.02	1.03	令和元年度	平成17年度	福島県福島市金谷川1番地	定員変更(△30)
行政政策学類	4	185	3年次10	785	学士(社会学)	1.03	1.04	令和元年度	平成17年度	同上	定員変更(△25)
行政政策学類 夜間主コース	4	20	-	60	学士(社会学)	1.08	1.10	令和元年度	令和元年度	同上	定員変更(20)
経済経営学類	4	220	3年次10	905	学士(経済学)	1.01	1.03	令和元年度	平成17年度	同上	定員変更(△25)
夜間主コース	4	-	-	60	学士(発達文化) 学士(社会学) 学士(経済学)	1.01	-		平成17年度	同上	令和元年度学生募集停止
理工学群	4	160	-	660		1.04	1.06				
共生システム 理工学類	4	160	-	660	学士(理工学)	1.04	1.06	令和元年度	平成17年度	福島県福島市金谷川1番地	定員変更(△20)
農学群	4	100	-	300		1.04	1.04				
食農学類	4	100	-	300	学士(農学)	1.04	1.04	令和元年度	令和元年度	福島県福島市金谷川1番地	定員変更(100)
大学全体	4	945	30	3,840	-	1.03	1.04	-	-	-	
大学院											
人間発達文化研究科											
教職実践専攻	2	16	-	32	教職修士(専門職)	0.75	0.75		平成29年度	福島県福島市金谷川1番地	
地域文化創造専攻	2	17	-	34	修士(地域文化)	1.02	1.00		平成21年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	7	-	14	修士(教育学)	1.06	0.85		平成21年度	同上	
地域政策科学研究科											
地域政策科学専攻	2	20	-	40	修士(地域政策)	0.32	0.35		平成5年度	福島県福島市金谷川1番地	
経済学研究科											
経済学専攻	2	10	-	20	修士(経済学)	0.85	0.50		昭和51年度	福島県福島市金谷川1番地	
経営学専攻	2	12	-	24	修士(経済学)	0.58	0.58		昭和61年度	同上	
共生システム 理工学研究科											
共生システム 理工学専攻	2	53	-	106	修士(理工学)	0.78	0.92	令和元年度	平成20年度	福島県福島市金谷川1番地	
環境放射能学 専攻	2	7	-	14	修士(理工学)	0.28	0.42	令和元年度	令和元年度	同上	
共生システム 理工学専攻	3	4	-	16	博士(理工学)	0.75	1.25		平成20年度	同上	定員変更(△2)
環境放射能学 専攻	3	2	-	2	博士(理工学)	0.50	0.50	令和3年度	令和3年度	同上	定員変更(2)

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。  
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<農学群 食農学類>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
専 教授	松田 幹	松田 幹	松田 幹	松田 幹	松田 幹
	<平成32年4月> 農学博士 医学博士	<平成32年4月> 農学博士 医学博士	<令和2年4月> 農学博士 医学博士	<令和2年4月> 農学博士 医学博士	<令和2年4月> 農学博士 医学博士
食品科学概論 ※ 世界の食料と農業 ※ 食品機能学Ⅰ 生物化学 食農実践演習Ⅰ 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文		食品科学概論 ※ 世界の食料と農業 ※ 食品機能学Ⅰ 生物化学 食農実践演習Ⅰ 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文		食品科学概論 ※ 世界の食料と農業 ※ 食品機能学Ⅰ 生物化学 食農実践演習Ⅰ 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文	
兼任 講師	松田 幹	松田 幹			
	<平成31年4月> 農学博士 医学博士	<平成31年4月> 農学博士 医学博士			
食品科学概論 ※		食品科学概論 ※			
専 教授	平 修	平 修	平 修	平 修	平 修
	<平成31年4月> 博士(材料科学)	<平成31年4月> 博士(材料科学)	<平成31年4月> 博士(材料科学)	<平成31年4月> 博士(材料科学)	<平成31年4月> 博士(材料科学)
スタートアップセミナー 化学 食品科学概論 ※ 食農実践演習Ⅰ 食品機能学Ⅱ 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文		スタートアップセミナー 化学 食品科学概論 ※ 食農実践演習Ⅰ 食品機能学Ⅱ 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文		スタートアップセミナー 化学 食品科学概論 ※ 食農実践演習Ⅰ 食品機能学Ⅱ 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文	
専 教授	金内 誠	金内 誠			
	<平成32年4月> 博士(生物環境調節学)	<平成32年4月> 博士(生物環境調節学)			
食品科学概論 ※ キャリアモデル学習 ※ 発酵・醸造学Ⅰ 食農実践演習Ⅰ インターンシップ 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文		食品科学概論 ※ キャリアモデル学習 ※ 発酵・醸造学Ⅰ 食農実践演習Ⅰ インターンシップ 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文			
兼任 講師	金内 誠	金内 誠			
	<平成31年4月> 博士(生物環境調節学)	<平成31年4月> 博士(生物環境調節学)			
食品科学概論 ※		食品科学概論 ※			
専 教授	藤井 力	藤井 力	藤井 力	藤井 力	藤井 力
	<平成31年4月> 博士(理学)	<平成31年4月> 博士(理学)	<平成31年4月> 博士(理学)	<平成31年4月> 博士(理学)	<平成31年4月> 博士(理学)
食品科学概論 ※ 基礎微生物学 食農実践演習Ⅰ 発酵・醸造学Ⅱ 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文		食品科学概論 ※ 基礎微生物学 食農実践演習Ⅰ 発酵・醸造学Ⅱ 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文		食品科学概論 ※ 基礎微生物学 食農実践演習Ⅰ 発酵・醸造学Ⅱ 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文	
専 教授	西村 順子	西村 順子	西村 順子	西村 順子	西村 順子
	<平成31年4月> 博士(農学)	<平成31年4月> 博士(農学)	<平成31年4月> 博士(農学)	<平成31年4月> 博士(農学)	<平成31年4月> 博士(農学)
食品科学概論 ※ 食品安全学 世界の食料と農業 ※ 食農実践演習Ⅰ 食品衛生管理学 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文		食品科学概論 ※ 食品安全学 世界の食料と農業 ※ 食農実践演習Ⅰ 食品衛生管理学 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文		食品科学概論 ※ 食品安全学 世界の食料と農業 ※ 食農実践演習Ⅰ 食品衛生管理学 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ ※ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文	















専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	小川 宏 <平成31年4月> 体育学修士	健康運動科学実習 スポーツ実習
兼任	教授	安田 俊広 <平成31年4月> 博士(体育科学)	健康運動科学実習 スポーツ実習
兼任	教授	松浦 浩子 <平成31年4月> Master of Arts(米園)	英語A I 英語A II 英語B I 英語B II
兼任	教授	村上 雄一 <平成31年4月> BACHELOR OF ARTS (HONOURS CLASS 1) (豪州)	英語A I 英語A II 英語B I 英語B II
兼任	教授	福富 靖之 <平成31年4月> 教育学修士	英語A I 英語A II 英語B I 英語B II 応用英語
兼任	教授	小野原 雅夫 <平成31年4月> 修士(文学)	倫理学 問題探究科目VI
兼任	教授	高谷(藤岡)理恵子 <平成31年4月> 修士(教育学)※	心理学
兼任	教授	井貫 充史 <平成31年4月> 修士(文学)※	言語・文学
兼任	教授	杉田 政夫 <平成31年4月> 博士(教育学)	音楽【隔年】
兼任	教授	末吉 健治 <平成31年4月> 文学修士※	地理学【隔年】
兼任	教授	加藤 眞義 <平成31年4月> 博士(文学)	社会論
兼任	教授	高橋 準 <平成31年4月> 社会学修士※	ジェンダー学入門【隔年】
兼任	教授	菊地 芳朗 <平成31年4月> 博士(文学)	歴史学【隔年】
兼任	教授	塩谷 弘康 <平成31年4月> 法学修士※	問題探究科目II 市民と法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	小川 宏 <平成31年4月> 体育学修士	健康運動科学実習
兼任	教授	松浦 浩子 <平成31年4月> Master of Arts(米園)	英語B I 英語B II 応用英語Ⅰ 応用英語Ⅱ
兼任	教授	村上 雄一 <平成31年4月> BACHELOR OF ARTS (HONOURS CLASS 1) (豪州)	英語B I 英語B II
兼任	教授	福富 靖之 <平成31年4月> 教育学修士	ことばの仕組み【隔年】 英語B I 英語B II 応用英語Ⅲ 応用英語Ⅳ
兼任	教授	小野原 雅夫 <平成31年4月> 修士(文学)	哲学カフェ
兼任	教授	井貫 充史 <令和2年4月> 修士(文学)※	言語・文学Ⅲ【隔年】※
兼任	教授	杉田 政夫 <平成31年4月> 博士(教育学)	音楽【隔年】
兼任	教授	末吉 健治 <平成31年4月> 文学修士※	地理学Ⅰ【隔年】
兼任	教授	高橋 準 <平成31年4月> 社会学修士※	ジェンダー学入門【隔年】
兼任	教授	菊地 芳朗 <平成31年4月> 博士(文学)	災害復興支援学Ⅱ 歴史学Ⅰ【隔年】※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	渡部 潤 <令和2年8月> 博士(農学)	食品科学概論 ※ キャリアモデル学習 ※ 発酵・醸造学Ⅰ 食農実践演習Ⅰ インタビューシップ 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文
兼任	教授	小川 宏 <平成31年4月> 体育学修士	健康運動科学実習
兼任	教授	小野原 雅夫 <平成31年4月> 修士(文学)	倫理学※ 哲学カフェ
兼任	教授	井貫 充史 <令和2年4月> 修士(文学)※	言語・文学Ⅲ【隔年】※
兼任	教授	高橋 準 <平成31年4月> 社会学修士※	ジェンダー学入門【隔年】
兼任	教授	菊地 芳朗 <平成31年4月> 博士(文学)	災害復興支援学Ⅱ 歴史学Ⅰ【隔年】※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	渡部 潤 <令和2年8月> 博士(農学)	食品科学概論 ※ キャリアモデル学習 ※ 発酵・醸造学Ⅰ 食農実践演習Ⅰ インタビューシップ 食品科学実験Ⅰ ※ 食農実践演習Ⅱ 食品科学実験Ⅱ ※ 食農実践演習Ⅲ 卒業研究基礎演習 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業論文
兼任	教授	松浦 浩子 <平成31年4月> Master of Arts(米園)	応用英語Ⅰ 応用英語Ⅱ
兼任	教授	福富 靖之 <平成31年4月> 教育学修士	ことばの仕組み【隔年】 応用英語ⅢⅣ 応用英語ⅣⅤ 応用英語ⅤⅥ
兼任	教授	小野原 雅夫 <平成31年4月> 修士(文学)	倫理学※ 哲学カフェ データサイエンス入門
兼任	教授	井貫 充史 <令和2年4月> 修士(文学)※	言語・文学Ⅲ【隔年】※
兼任	教授	高橋 準 <平成31年4月> 社会学修士※	ジェンダー学入門【隔年】
兼任	教授	菊地 芳朗 <平成31年4月> 博士(文学)	災害復興支援学Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		神長 裕明 <平成31年4月> 工学博士
		自然と技術Ⅰ
兼任 教授		岡沼 信一 <平成31年4月> 工学博士
		自然と技術Ⅱ
兼任 教授		柴崎 直明 <平成31年4月> 博士(理学)
		自然と技術Ⅳ
兼任 教授		小室 安宏 <平成31年4月> 博士(医学)
		医学概論
兼任 教授		田村 奈保子 <平成31年4月> 修士(文学)
		基礎外国語(理工系)(フランス語) 応用外国語(理工系)(フランス語)
兼任 教授		手代木 有規 <平成31年4月> 論文博士(文学)
		基礎外国語(理工系)(中国語) 応用外国語(理工系)(中国語)
兼任 教授		吉川 宏人 <平成31年4月> 修士(文学)
		基礎外国語(理工系)(ロシア語) 応用外国語(理工系)(ロシア語)
兼任 教授		井本 亮 <平成31年4月> 博士(言語学)
		日本語Ⅰa 日本語Ⅰb 日本語Ⅱa 日本語Ⅱb 日本語Ⅲa 日本語Ⅲb 日本語Ⅳa 日本語Ⅳb
兼任 教授		本田 修啓 <平成31年4月> 工学士
		情報リテラシー
兼任 教授		三浦 浩喜 <平成31年4月> 修士(教育学)
		問題探究科目Ⅰ
兼任 教授		佐野 孝治 <平成31年4月> 経済学修士※
		問題探究科目Ⅲ
兼任 教授		岩崎 由美子 <平成31年4月> 法学修士※
		問題探究科目Ⅳ 社会計画論
兼任 教授		牧田 実 <平成31年4月> 学術修士※
		問題探究科目Ⅴ
兼任 教授		佐藤 理夫 <平成31年4月> 工学博士
		問題探究科目Ⅵ
兼任 教授		千葉 養伍 <平成31年4月> 博士(農学)
		栄養機能科学
兼任 教授		木村 勝彦 <平成31年4月> 修士(理学)※
		森林生態学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		神長 裕明 <平成31年4月> 工学博士
		情報リテラシー
兼任 教授		岡沼 信一 <平成31年4月> 工学博士
		ちからとうごき
兼任 教授		小室 安宏 <平成31年4月> 博士(医学)
		人体の構造と機能及び疾病(医学概論)
兼任 教授		田村 奈保子 <平成31年4月> 修士(文学)
		フランス語基礎(特設)Ⅰ 応用外国語(理工系)(フランス語)
兼任 教授		手代木 有規 <平成31年4月> 論文博士(文学)
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ(特設)Ⅰ 中国語基礎(特設)Ⅱ 応用外国語(理工系)(中国語)
兼任 教授		吉川 宏人 <平成31年4月> 修士(文学)
		ロシア語基礎(特設)Ⅱ 応用外国語(理工系)(ロシア語)
兼任 教授		井本 亮 <平成31年4月> 博士(言語学)
		日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語Ⅲa 日本語Ⅲb 日本語Ⅳa 日本語Ⅳb
兼任 教授		本田 修啓 <平成31年4月> 工学士
		情報リテラシー
兼任 教授		佐野 孝治 <平成31年4月> 経済学修士※
		グローバル災害論
兼任 教授		岩崎 由美子 <平成31年4月> 法学修士※
		社会計画論
兼任 教授		牧田 実 <平成31年4月> 学術修士※
		NPO論【隔年】
兼任 教授		佐藤 理夫 <平成31年4月> 工学博士
		再生可能エネルギー
兼任 教授		千葉 養伍 <平成31年4月> 博士(農学)
		栄養機能科学
兼任 教授		木村 勝彦 <平成31年4月> 修士(理学)※
		森林生態学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		神長 裕明 <平成31年4月> 工学博士
		情報リテラシー
兼任 教授		岡沼 信一 <平成31年4月> 工学博士
		ちからとうごき
兼任 教授		小室 安宏 <平成31年4月> 博士(医学)
		人体の構造と機能及び疾病(医学概論)
兼任 教授		田村 奈保子 <平成31年4月> 修士(文学)
		フランス語基礎(特設)Ⅰ
兼任 教授		手代木 有規 <平成31年4月> 論文博士(文学)
		中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ(特設)Ⅰ 中国語基礎(特設)Ⅱ 応用外国語(理工系)(中国語)
兼任 教授		吉川 宏人 <平成31年4月> 修士(文学)
		ロシア語基礎(特設)Ⅱ ロシア語応用Ⅰ ロシア語応用Ⅱ
兼任 教授		井本 亮 <平成31年4月> 博士(言語学)
		日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語ⅢA 日本語ⅢB 日本語ⅣA 日本語ⅣB
兼任 教授		本田 修啓 <平成31年4月> 工学士
		情報リテラシー
兼任 教授		佐野 孝治 <平成31年4月> 経済学修士※
		グローバル災害論
兼任 教授		岩崎 由美子 <平成31年4月> 法学修士※
		社会計画論
兼任 教授		牧田 実 <平成31年4月> 学術修士※
		NPO論【隔年】
兼任 教授		佐藤 理夫 <平成31年4月> 工学博士
		再生可能エネルギー※
兼任 教授		千葉 養伍 <平成31年4月> 博士(農学)
		栄養機能科学
兼任 教授		木村 勝彦 <平成31年4月> 修士(理学)※
		森林生態学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任 教授		神長 裕明 <平成31年4月> 工学博士
		情報リテラシー
兼任 教授		岡沼 信一 <平成31年4月> 工学博士
		ちからとうごき
兼任 教授		小室 安宏 <平成31年4月> 博士(医学)
		人体の構造と機能及び疾病(医学概論)
兼任 教授		田村 奈保子 <平成31年4月> 修士(文学)
		フランス語基礎(特設)Ⅰ
兼任 教授		手代木 有規 <平成31年4月> 論文博士(文学)
		中国語基礎(特設)Ⅰ 中国語基礎Ⅱ(特設)Ⅱ 中国語応用Ⅰ 中国語応用Ⅱ
兼任 教授		吉川 宏人 <平成31年4月> 修士(文学)
		ロシア語基礎(特設)Ⅱ ロシア語応用Ⅰ ロシア語応用Ⅱ
兼任 教授		井本 亮 <平成31年4月> 博士(言語学)
		日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語ⅢA 日本語ⅢB 日本語ⅣA 日本語ⅣB
兼任 教授		本田 修啓 <平成31年4月> 工学士
		情報リテラシー
兼任 教授		佐野 孝治 <平成31年4月> 経済学修士※
		グローバル災害論
兼任 教授		岩崎 由美子 <平成31年4月> 法学修士※
		社会計画論
兼任 教授		牧田 実 <平成31年4月> 学術修士※
		NPO論【隔年】
兼任 教授		佐藤 理夫 <平成31年4月> 工学博士
		再生可能エネルギー※
兼任 教授		千葉 養伍 <平成31年4月> 博士(農学)
		栄養機能科学
兼任 教授		木村 勝彦 <平成31年4月> 修士(理学)※
		森林生態学 生命の科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高田 英和 <平成31年4月> 博士(学術)
		英語 A I 英語 A II 英語 B I 英語 B II
兼任	准教授	加藤 奈保子 <平成31年4月> 博士(文学)
		美術【隔年】
兼任	准教授	坂本 篤史 <平成31年4月> 博士(教育学)
		教育と文化【隔年】
兼任	准教授	片山 規央 <平成31年4月> 博士(医学)
		脳神経と精神保健
兼任	准教授	荒 知宏 <平成31年4月> 修士(経済学)※
		経済学
兼任	准教授	黒崎 輝 <平成31年4月> 博士(法学)
		政治学【隔年】
兼任	准教授	阪本 尚文 <平成31年4月> 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	准教授	高安 徹 <平成31年4月> 博士(理学)
		自然と技術Ⅲ
兼任	准教授	高橋 優 <平成31年4月> Dr.phil.(独園)
		基礎外国語(理工系)(ドイツ語) 応用外国語(理工系)(ドイツ語)
兼任	准教授	伊藤 俊介 <平成31年4月> Doctor of Arts(韓国)
		基礎外国語(理工系)(韓国朝鮮語) 応用外国語(理工系)(韓国朝鮮語)
兼任	准教授	高貝 慶隆 <平成31年4月> 博士(工学)
		問題探究科目Ⅵ
兼任	准教授	高森 智嗣 <平成31年4月> 修士(教育学)※
		問題探究科目Ⅸ
兼任	准教授	鈴木(足立)学 <平成31年4月> 修士(教育学)
		問題探究科目Ⅹ
兼任	准教授	沼田 大輔 <平成31年4月> 博士(経済学)
		環境経済学
		工業 孝義 <平成31年4月> 体育学修士 博士(教育学)
		スポーツ実習
		杉浦 弘一 <平成31年4月> 修士(体育学)
		健康運動科学実習 スポーツ実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高田 英和 <平成31年4月> 博士(学術)
		英語 A II 英語 B I 英語 B II
兼任	准教授	加藤 奈保子 <平成31年4月> 博士(文学)
		美術【隔年】
兼任	准教授	坂本 篤史 <平成31年4月> 博士(教育学)
		教育と文化【隔年】
兼任	准教授	片山 規央 <平成31年4月> 博士(医学)
		精神疾患とその治療
兼任	准教授	荒 知宏 <平成31年4月> 修士(経済学)※
		経済学 I【隔年】
兼任	准教授	黒崎 輝 <平成31年4月> 博士(法学)
		政治学【隔年】
兼任	准教授	阪本 尚文 <平成31年4月> 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	准教授	高安 徹 <平成31年4月> 博士(理学)
		物質の科学01
兼任	准教授	高橋 優 <平成31年4月> Dr.phil.(独園)
		ドイツ語基礎(特設) I ドイツ語基礎(特設) II 応用外国語(理工系)(ドイツ語)
兼任	准教授	伊藤 俊介 <平成31年4月> Doctor of Arts(韓国)
		韓国朝鮮語基礎 I 韓国朝鮮語基礎 II 韓国朝鮮語基礎(特設) I 韓国朝鮮語基礎(特設) II 応用外国語(理工系)(韓国朝鮮語)
兼任	准教授	高貝 慶隆 <平成31年4月> 博士(工学)
		放射線入門【隔年】
兼任	准教授	高森 智嗣 <平成31年4月> 修士(教育学)※
		大学で学ぶ 評価入門
兼任	准教授	鈴木(足立)学 <平成31年4月> 修士(教育学)
		大学生のための現代社会 セルフラーニングデザイン 論
兼任	准教授	沼田 大輔 <平成31年4月> 博士(経済学)
		環境経済学
		工業 孝義 <平成31年4月> 体育学修士 博士(教育学)
		スポーツ実習
兼任	准教授	杉浦 弘一 <平成31年4月> 修士(体育学)
		健康運動科学実習 スポーツ実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高田 英和 <平成31年4月> 博士(学術)
		英語 A II
兼任	准教授	加藤 奈保子 <平成31年4月> 博士(文学)
		美術【隔年】
兼任	准教授	片山 規央 <平成31年4月> 博士(医学)
		精神疾患とその治療
兼任	准教授	黒崎 輝 <平成31年4月> 博士(法学)
		政治学【隔年】
兼任	准教授	阪本 尚文 <平成31年4月> 修士(法学)
		ドイツ語基礎(特設) I ドイツ語基礎(特設) II ドイツ語応用 I ドイツ語応用 II
兼任	教授	伊藤 俊介 <平成31年4月> Doctor of Arts(韓国)
		韓国朝鮮語基礎 I 韓国朝鮮語基礎 II 韓国朝鮮語基礎(特設) I 韓国朝鮮語基礎(特設) II 韓国朝鮮語応用 I 韓国朝鮮語応用 II
兼任	准教授	高森 智嗣 <平成31年4月> 修士(教育学)※
		大学で学ぶ 評価入門
兼任	准教授	沼田 大輔 <平成31年4月> 博士(経済学)
		環境経済学
		工業 孝義 <平成31年4月> 体育学修士 博士(教育学)
		スポーツ実習
兼任	准教授	杉浦 弘一 <平成31年4月> 修士(体育学)
		健康運動科学実習 スポーツ実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	高田 英和 <平成31年4月> 博士(学術)
		英語 A II
兼任	准教授	加藤 奈保子 <平成31年4月> 博士(文学)
		美術【隔年】
兼任	准教授	片山 規央 <平成31年4月> 博士(医学)
		精神疾患とその治療
兼任	准教授	荒 知宏 <平成31年4月> 修士(経済学)※
		経済学 I【隔年】
兼任	准教授	黒崎 輝 <平成31年4月> 博士(法学)
		政治学【隔年】
兼任	准教授	阪本 尚文 <平成31年4月> 修士(法学)
		ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II ドイツ語応用 I ドイツ語応用 II
兼任	教授	伊藤 俊介 <平成31年4月> Doctor of Arts(韓国)
		韓国朝鮮語基礎 I 韓国朝鮮語基礎 II 韓国朝鮮語基礎(特設) I 韓国朝鮮語基礎(特設) II 韓国朝鮮語応用 I 韓国朝鮮語応用 II
兼任	准教授	高森 智嗣 <平成31年4月> 修士(教育学)※
		大学で学ぶ 評価入門
兼任	准教授	沼田 大輔 <平成31年4月> 博士(経済学)
		環境経済学
		工業 孝義 <平成31年4月> 体育学修士 博士(教育学)
		スポーツ実習
兼任	准教授	杉浦 弘一 <平成31年4月> 修士(体育学)
		健康運動科学実習 スポーツ実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
		兼担 特任教授 鈴木 裕美子 <平成31年4月> 体育学修士 健康運動科学実習 スポーツ実習	兼担 特任教授 鈴木 裕美子 <平成31年4月> 体育学修士 健康運動科学実習 スポーツ実習	兼担 特任教授 鈴木 裕美子 <平成31年4月> 体育学修士 健康運動科学実習 スポーツ実習	兼担 特任教授 鈴木 裕美子 <平成31年4月> 体育学修士 健康運動科学実習 スポーツ実習
		兼担 准教授 飯嶋 良太 <平成31年4月> 文学修士 英語A I	兼担 准教授 飯嶋 良太 <平成31年4月> 文学修士 英語A I	兼担 准教授 飯嶋 良太 <平成31年4月> 文学修士 英語A I	兼担 准教授 飯嶋 良太 <平成31年4月> 文学修士 英語A I
		兼担 教授 フィリップ・マッカーズランド <平成31年4月> 修士(文学)(米國) 応用英語X V 応用英語X VI	兼担 教授 フィリップ・マッカーズランド <平成31年4月> 修士(文学)(米國) 応用英語X V 応用英語X VI	兼担 教授 フィリップ・マッカーズランド <平成31年4月> 修士(文学)(米國) 応用英語X V 応用英語X VI	兼担 教授 フィリップ・マッカーズランド <平成31年4月> 修士(文学)(米國) 応用英語X V 応用英語X VI
		兼担 教授 佐々木 俊彦 <平成31年4月> 文学修士 応用英語X VII 応用英語X VIII	兼担 教授 佐々木 俊彦 <平成31年4月> 文学修士 英語A I 応用英語X III 応用英語X IV	兼担 教授 佐々木 俊彦 <平成31年4月> 文学修士 英語A I 応用英語X III 応用英語X IV	兼担 教授 佐々木 俊彦 <平成31年4月> 文学修士 英語A I 応用英語X III 応用英語X IV
		兼担 教授 吉高神 明 <平成31年4月> 国際政治学修士 応用英語X IX 応用英語X X	兼担 教授 吉高神 明 <平成31年4月> 国際政治学修士 応用英語X VII 応用英語X VIII		
		兼担 教授 樋口 良之 <平成31年4月> 博士(工学) 倫理学	兼担 教授 樋口 良之 <平成31年4月> 博士(工学) 倫理学※	兼担 教授 樋口 良之 <平成31年4月> 博士(工学) 倫理学※	兼担 教授 樋口 良之 <平成31年4月> 博士(工学) 倫理学※
		兼担 教授 飛田 操 <平成31年4月> 博士(心理学) 心理学 I 01		兼担 教授 飛田 操 <平成31年4月> 博士(心理学) 心理学 I	兼担 教授 飛田 操 <平成31年4月> 博士(心理学) 心理学 I
		兼担 教授 木暮 照正 <平成31年4月> 博士(学術) 心理学 I 02	兼担 教授 木暮 照正 <平成31年4月> 博士(学術) 心理学 I		
		兼担 教授 原野 明子 <平成31年4月> 教育学修士 心理学 II			
		兼担 准教授 高橋 由貴 <平成31年4月> 博士(文学) 言語・文学 I【隔年】	兼担 准教授 高橋 由貴 <平成31年4月> 博士(文学) 言語・文学 III【隔年】※		
		兼担 教授 西崎 伸子 <平成31年4月> 博士(地域研究) 社会論【隔年】			
		兼担 教授 功刀 俊洋 <平成31年4月> 社会学修士 歴史学 II【隔年】			
		兼担 教授 福島 雄一 <平成31年4月> 法学修士 市民と法【隔年】			
		兼担 准教授 藤原 暹 <平成31年4月> 修士(経済学) 地域論 I【隔年】		兼担 准教授 藤原 暹 <平成31年4月> 修士(経済学) 地域論 I【隔年】	兼担 准教授 藤原 暹 <平成31年4月> 修士(経済学) 地域論 I【隔年】
		兼担 教授 川越 清樹 <平成31年4月> 博士(環境科学) 環境の科学			
		兼担 教授 黒沢 高秀 <平成31年4月> 博士(理学) 生命の科学【隔年】			
		兼担 准教授 金 敬雄 <平成31年4月> 博士(国際文化) 中国語基礎(特設) I 中国語基礎(特設) II	兼担 准教授 金 敬雄 <平成31年4月> 博士(国際文化) 中国語基礎(特設) I 中国語基礎(特設) II 中国語応用 I 中国語応用 II	兼担 准教授 金 敬雄 <平成31年4月> 博士(国際文化) 中国語基礎(特設) I 中国語基礎(特設) II 中国語応用 I 中国語応用 II	兼担 准教授 金 敬雄 <平成31年4月> 博士(国際文化) 中国語基礎(特設) I 中国語基礎(特設) II 中国語応用 I 中国語応用 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
				兼任	准教授	クズネツォーフ・マリーナ <平成31年4月> 修士(モスクワ国立大学 付属アジア・アフリカ諸国 大学)(露国)	クズネツォーフ・マリーナ <平成31年4月> 修士(モスクワ国立大学 付属アジア・アフリカ諸国 大学)(露国)	兼任	准教授	クズネツォーフ・マリーナ <平成31年4月> 修士(モスクワ国立大学 付属アジア・アフリカ諸国 大学)(露国)	クズネツォーフ・マリーナ <平成31年4月> 修士(モスクワ国立大学 付属アジア・アフリカ諸国 大学)(露国)
						ロシア語基礎Ⅱ ロシア語基礎(特設)Ⅰ ロシア語応用Ⅰ					ロシア語基礎Ⅱ ロシア語基礎(特設)Ⅰ ロシア語応用Ⅰ
				兼任	准教授	内海 晋史 <平成31年4月> 博士(情報科学)					
						情報リテラシー					
				兼任	特任 准教授	前川 直哉 <平成31年4月> 博士(人間・環境学)		兼任	特任 准教授	前川 直哉 <平成31年4月> 博士(人間・環境学)	
						ふくしま未来学入門Ⅰ ふくしま未来学入門Ⅱ むらの大学					ふくしま未来学入門Ⅰ ふくしま未来学入門Ⅱ むらの大学 若者・学校・社会
				兼任	准教授	中里 真 <平成31年4月> 修士(法学)		兼任	准教授	中里 真 <平成31年4月> 修士(法学)	
						成年年齢引き下げと政策的課題					成年年齢引き下げと政策的課題
				兼任	教授	グンスケフォンケルン・マル ティーナ <平成31年4月> Magister Artium(独国)		兼任	教授	グンスケフォンケルン・マル ティーナ <平成31年4月> Magister Artium(独国)	
						ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎(特設)Ⅰ					ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語基礎(特設)Ⅰ ドイツ語基礎(特設)Ⅱ ドイツ語応用Ⅰ ドイツ語応用Ⅱ
				兼任	教授	山口 克彦 <平成31年4月> 博士(理学)					
						放射線入門【隔年】					
				兼任	准教授	兼子 伸吾 <平成31年4月> 博士(学術)					
						放射線入門【隔年】					
				兼任	教授	初澤 敏生 <平成31年4月> 博士(地理学)					
						ボランティア論【隔年】					ボランティア論【隔年】
				兼任	教授	久我 和巳 <平成31年4月> 社会学修士					
						映画の世界・映画と世界 【隔年】					映画の世界・映画と世界【隔年】
				兼任	准教授	朱 永浩 <平成31年4月> 博士(商学)		兼任	准教授	朱 永浩 <平成31年4月> 博士(商学)	
						アジア共同体構想					アジア共同体構想
				兼任	講師	渡部 満 <令和2年4月> 博士(農学)					
						食品科学概論 ※ キャリアモデル学習 ※					
				兼任	教授	佐久間 康之 <令和2年4月> 修士(教育学)					
						英語AⅠ					英語AⅠ
				兼任	准教授	高木 修一 <令和2年4月> 博士(言語学)					
						英語AⅠ					英語BⅠ 英語BⅡ
				兼任	教授	朝賀 俊彦 <令和2年4月> 文学修士					
						英語AⅡ					
				兼任	特任 教授	後藤 史子 <令和2年4月> 文学修士					
						英語AⅡ 英語BⅡ					英語AⅡ 英語BⅡ
				兼任	教授	半沢 康 <令和2年4月> 修士(文学)					
						言語・文学Ⅲ【隔年】※					

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
							兼任	佐藤 佐敏 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)		兼任	佐藤 佐敏 ＜令和2年4月＞ 修士(教育学)
								言語・文学Ⅱ【隔年】※			言語・文学Ⅱ【隔年】※
							兼任	渡澤 尚 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)		兼任	渡澤 尚 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)
								言語・文学Ⅱ【隔年】※			言語・文学Ⅱ【隔年】※
							兼任	中川 祐治 ＜令和2年4月＞ 博士(学術)			
								言語・文学Ⅱ【隔年】※			
							兼任	阿部 浩一 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)			
								歴史学Ⅰ【隔年】※			
							兼任	鯉和田 賢 ＜令和2年4月＞ 博士(文学)			
								歴史学Ⅰ【隔年】※			
							兼任	菊池 智裕 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)		兼任	菊池 智裕 ＜令和2年4月＞ 修士(文学)
								歴史学Ⅱ【隔年】			歴史学Ⅱ【隔年】
							兼任	永櫛 幸司 ＜令和2年4月＞ 博士(芸術工学)			
								環境の科学※			
							兼任	後藤 忍 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)			
								環境の科学※			
							兼任	川崎 興太 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)			
								環境の科学※			
							兼任	三浦 一之 ＜令和2年4月＞ 博士(情報科学)			
								情報リテラシー			
							兼任	増田 正 ＜令和2年4月＞ 工学博士			
								情報リテラシー			
							兼任	赤井 仁志 ＜令和2年4月＞ 博士(芸術工学)		兼任	赤井 仁志 ＜令和2年4月＞ 博士(芸術工学)
								再生可能エネルギー※			再生可能エネルギー※
							兼任	齊藤 公彦 ＜令和2年4月＞ 工学博士		兼任	齊藤 公彦 ＜令和2年4月＞ 工学博士
								再生可能エネルギー※			再生可能エネルギー※
							兼任	佐藤 義久 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)			
								再生可能エネルギー※			
							兼任	小井土 賢二 ＜令和2年4月＞ 博士(工学)			
								再生可能エネルギー※			
							兼任	金井 光子 ＜令和2年4月＞ 修士(法学)			
								日本国憲法			
							兼任	濱根 慎二 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)			
								物質の科学			
							兼任	中川 和重 ＜令和2年4月＞ 博士(理学)			
								マセマティカル・サイエンス 【隔年】			



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
				兼担 准教授	遠藤 明子 <令和2年4月> 修士(商学)
					経営学【隔年】
				兼担 准教授	和田 正樹 <令和2年4月> 博士(理学)
					教養の数学【隔年】
				兼担 教授	十河 利明 <令和2年4月> 修士(経済学)
					経済学Ⅱ【隔年】
				兼担 教授	中村 恵子 <令和2年4月> 博士(学術)
					生活探究演習【隔年】
				兼担 教授	鎌波 謙二 <令和2年4月> 農学博士
					環境放射能学入門※
				兼担 教授	塚田 祥文 <令和2年4月> 博士(農学)
					環境放射能学入門※
				兼担 教授	ヴァシル ヨシエンコ <令和2年4月> Ph.D in Biology
					環境放射能学入門※
				兼担 准教授	和田 敏裕 <令和2年4月> 博士(農学)
					環境放射能学入門※
				兼担 講師	藤山 義史 <令和2年4月> 博士(理学)
					環境放射能学入門※
				兼担 講師	平尾 茂一 <令和2年4月> 博士(工学)
					環境放射能学入門※
				兼担 特任准教授	高田 兵衛 <令和2年4月> 博士(水産科学)
					環境放射能学入門※
				兼担 特任助教	石鹿 寛子 <令和2年4月> 博士(学術)
					環境放射能学入門※
				兼担 産学官連携教員	横島 善子 <令和2年4月> 修士(工学) 弁理士
					知的財産の基礎知識
				兼担 准教授	松本 正晴 <令和3年4月> 博士(工学)
					情報リテラシー
				兼担 教授	中山 明 <令和3年4月> 博士(学術)
					情報リテラシー
				兼担 准教授	山崎 曉彦 <令和3年4月> 修士(法学)
					市民と法
				兼担 准教授	大川 裕嗣 <令和3年4月> 学士
					経済学Ⅱ
				兼担 教授	横尾 善之 <令和3年4月> 博士(工学)
					環境の科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名				
					高橋 有紀 <令和3年4月> 博士(法学) 立ち直り支援と地域社会
					本橋 良嘉 <令和3年4月> 博士(体育学) 健康運動科学実習
					鶴巻 正子 <令和3年4月> 博士(文学) 心理学Ⅱ
					鈴木 典夫 <令和3年4月> 修士(文学) 社会論
					横島 浩 <令和3年4月> 芸術学修士 音楽
					小松 賢司 <令和3年4月> 博士(史学) 歴史学Ⅱ※
					笹竹 剛 <令和3年4月> 博士(文学) 歴史学Ⅱ※
					高橋 一晴 <令和3年4月> 博士(理学) ちからとうごき
					藤田 伸夫 <令和3年4月> 博士(心理学) 情報リテラシー
					杉森 大助 <令和3年4月> 博士(工学) 物質の科学
					呉 書雅 <令和3年4月> 博士(教育学) データ分析入門 若者・学校・社会 データサイエンス入門
					佐藤 元樹 <令和3年4月> 博士(文学) 英語AⅡ
					神野 剛 <令和3年4月> 学士(地理学) ふくしま未来学入門Ⅰ ふくしま未来学入門Ⅱ むらの大学
兼任	講師	長尾 慶和 <平成31年4月> 博士(獣医学) 畜産学特別実習	長尾 慶和 <平成31年4月> 博士(獣医学) 畜産学特別実習	長尾 慶和 <平成31年4月> 博士(獣医学) 畜産学特別実習	長尾 慶和 <平成31年4月> 博士(獣医学) 畜産学特別実習
			ロナルド・ブレント・スコット <平成31年4月> Master of Clinical Psychology 英語AⅠ 英語AⅡ	ロナルド・ブレント・スコット <平成31年4月> Master of Clinical Psychology 英語AⅡ 英語BⅠ 英語BⅡ 応用英語ⅠⅡ 応用英語ⅢⅣ	ロナルド・ブレント・スコット <平成31年4月> Master of Clinical Psychology 英語AⅡ 英語BⅠ 英語BⅡ
			長谷川 明子 <平成31年4月> 修士(文学) 英語AⅠ フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語基礎(特設)Ⅱ	長谷川 明子 <平成31年4月> 修士(文学) 英語BⅠ フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語基礎(特設)Ⅱ フランス語応用Ⅱ	長谷川 明子 <平成31年4月> 修士(文学) 英語BⅠ フランス語基礎(特設)Ⅰ フランス語基礎(特設)Ⅱ フランス語応用Ⅰ
			安藤 勝夫 <平成31年4月> 修士(文学) 英語AⅡ	安藤 勝夫 <平成31年4月> 修士(文学) 英語BⅠ 英語BⅡ	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
		嶺岸 佑亮 <平成31年4月> 博士(文学)	哲学Ⅰ【隔年】			嶺岸 佑亮 <平成31年4月> 博士(文学)	哲学Ⅱ【隔年】			嶺岸 佑亮 <平成31年4月> 博士(文学)	哲学Ⅰ【隔年】
		平手 伸昭 <平成31年4月> 博士(文学)	フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ			平手 伸昭 <平成31年4月> 博士(文学)	フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ			平手 伸昭 <平成31年4月> 博士(文学)	フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語応用Ⅱ
		二瓶 由美子 <平成31年4月> 修士(地域政策)	日本国憲法			二瓶 由美子 <平成31年4月> 修士(地域政策)	日本国憲法			二瓶 由美子 <平成31年4月> 修士(地域政策)	日本国憲法
		グンスケフォンケルン・マルクス <平成31年4月> 大学卒(独逸)	ドイツ語基礎Ⅰ			グンスケフォンケルン・マルクス <平成31年4月> 大学卒(独逸)	ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語基礎(特設)Ⅱ			グンスケフォンケルン・マルクス <平成31年4月> 大学卒(独逸)	ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語基礎(特設)Ⅰ ドイツ語基礎(特設)Ⅱ
		神子 博昭 <平成31年4月> 文学修士	ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎(特設)Ⅱ			神子 博昭 <平成31年4月> 文学修士	ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎(特設)Ⅰ				
		齋藤 寛 <平成31年4月> 文学修士	ドイツ語基礎Ⅱ			齋藤 寛 <平成31年4月> 文学修士	ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語基礎(特設)Ⅰ ドイツ語応用Ⅰ				
		オーバーボイマー・ユルゲン <平成31年4月> Diplom-Psychologe(ドイツ)	ドイツ語基礎Ⅱ			オーバーボイマー・ユルゲン <平成31年4月> Diplom-Psychologe(ドイツ)	ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語応用Ⅰ				
		井上 浩一 <平成31年4月> 修士(国際文化)	中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ			井上 浩一 <平成31年4月> 修士(国際文化)	中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語基礎(特設)Ⅰ 中国語基礎(特設)Ⅱ 中国語応用Ⅰ 中国語応用Ⅱ			井上 浩一 <平成31年4月> 修士(国際文化)	中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語基礎(特設)Ⅰ 中国語基礎(特設)Ⅱ 中国語応用Ⅰ 中国語応用Ⅱ
		池澤 実芳 <平成31年4月> 文学修士	中国語基礎Ⅰ			池澤 実芳 <平成31年4月> 文学修士	中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ			池澤 実芳 <平成31年4月> 文学修士	中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
		カザンツェワ・ラーダ <平成31年4月> Master of linguistic(ロシア)	ロシア語基礎Ⅰ			カザンツェワ・ラーダ <平成31年4月> Master of linguistic(ロシア)	ロシア語基礎Ⅰ ロシア語応用Ⅱ			カザンツェワ・ラーダ <平成31年4月> Master of linguistic(ロシア)	ロシア語基礎Ⅰ ロシア語応用Ⅱ
		永島 恭子 <平成31年4月> 修士(日本語教育)	日本事情Ⅲ【隔年】 日本事情Ⅳ【隔年】			永島 恭子 <平成31年4月> 修士(日本語教育)	日本事情Ⅰ【隔年】 日本事情Ⅱ【隔年】			永島 恭子 <平成31年4月> 修士(日本語教育)	日本事情Ⅲ【隔年】 日本事情Ⅳ【隔年】
		木谷 健智 <平成31年4月> 経済学修士	情報リテラシー			木谷 健智 <平成31年4月> 経済学修士	情報リテラシー			木谷 健智 <平成31年4月> 経済学修士	情報リテラシー
		中山 祐貴 <平成31年4月> 博士(理工学)	情報リテラシー			中山 祐貴 <平成31年4月> 博士(理工学)	情報リテラシー			中山 祐貴 <平成31年4月> 博士(理工学)	情報リテラシー
						三津 文紀 <令和2年4月> 博士(教育学)	心理学Ⅱ				
						寺本 弘子 <令和2年4月> 博士(文学)	フランス語応用Ⅰ			寺本 弘子 <令和2年4月> 博士(文学)	フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ
						レジス・ドラビゾン <令和2年4月> Bachelor of Commerce	フランス語応用Ⅰ フランス語応用Ⅱ			レジス・ドラビゾン <令和2年4月> Bachelor of Commerce	フランス語応用Ⅰ フランス語応用Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
				伊藤 由美 <令和2年4月> 修士(国際文化)	伊藤 由美 <令和2年4月> 修士(国際文化)
				中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語応用Ⅰ 中国語応用Ⅱ	中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語応用Ⅰ 中国語応用Ⅱ
				兼任 講師	兼任 講師
				吳 怡芬 <令和2年4月> 修士(国際文化)	吳 怡芬 <令和2年4月> 修士(国際文化)
				中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ	中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
				兼任 講師	兼任 講師
				解 澤 春 <令和2年4月> 経済学修士	解 澤 春 <令和2年4月> 経済学修士
				中国語応用Ⅰ 中国語応用Ⅱ	中国語応用Ⅰ 中国語応用Ⅱ
				兼任 講師	兼任 講師
				泉 矩 康 <令和2年4月> 修士(学術)	泉 矩 康 <令和2年4月> 修士(学術)
				朝鮮韓国語基礎Ⅰ 韓国朝鮮語基礎Ⅱ	朝鮮韓国語基礎Ⅰ 韓国朝鮮語基礎Ⅱ 韓国朝鮮語応用Ⅰ 韓国朝鮮語応用Ⅱ 韓国朝鮮語基礎(特設)Ⅰ 韓国朝鮮語基礎(特設)Ⅱ
				兼任 講師	兼任 講師
				朴 相 賢 <令和2年4月> 修士(農学)	朴 相 賢 <令和2年4月> 修士(農学)
				朝鮮韓国語応用Ⅰ 朝鮮韓国語応用Ⅱ	朝鮮韓国語応用Ⅰ 朝鮮韓国語応用Ⅱ
				兼任 講師	兼任 講師
				村重 慎一郎 <令和2年4月> 修士(工学)	村重 慎一郎 <令和2年4月> 修士(工学)
				データサイエンス入門	データサイエンス入門
				兼任 講師	兼任 講師
				飯澤 拓 <令和2年4月> 学士(経済)	
				データサイエンス入門	
				兼任 講師	
					紙谷 智彦 <令和3年4月> 農学博士
					森林育成学 樹木学
					兼任 講師
					坂倉 雄一郎 <令和3年4月> 学士(農学)、税理士
					農業簿記論※
					兼任 講師
					加藤 美夫 <令和3年4月> 学士(経済学)、税理士
					農業簿記論※
					兼任 講師
					片山 拓夫 <令和3年4月> 学士(農学)、税理士
					農業簿記論※
					兼任 講師
					古川 寛 <令和3年4月> 学士(経済学)、税理士
					農業簿記論※
					兼任 講師
					鳥居 由美 <令和3年4月> 修士(経済学)、税理士
					農業簿記論※
					兼任 講師
					鈴木 正人 <令和3年4月> 学士(経済学)、税理士
					農業簿記論※
					兼任 講師
					長沼 秀徳 <令和3年4月> 修士(経済学)、税理士
					農業簿記論※
					兼任 講師
					吉田 利彦 <令和3年4月> 修士(法学)、修士(農学)税理士
					農業簿記論※
					兼任 講師
					金 丹 <令和3年4月> 博士(経済学)
					韓国朝鮮語基礎Ⅱ 韓国朝鮮語基礎(特設)Ⅱ
					兼任 講師

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

【専任教員 関連】

・宮井 浩志 准教授就任辞退により、原田 英美 准教授に変更。平成31年2月教員審査済み。

【兼任・兼任教員 関連】

- ・小川 宏 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 工藤 孝幾 特任教授の追加。
- ・平成31年4月 安田 俊広 教授を 杉浦 弘一 准教授に変更。担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 鈴木 裕美子 特任教授の追加。
- ・松浦 浩子 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 ロナルド・ブレンド・スコット 講師の追加。
- ・村上 雄一 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 長谷川 明子 講師の追加。
- ・平成31年4月 安藤 勝夫 講師の追加。
- ・福富 靖之 教授の担当授業科目名の変更。担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 飯嶋 良太 准教授の追加。
- ・平成31年4月 マッカーズランド・フィリップ 教授の追加。
- ・平成31年4月 佐々木 俊彦 教授の追加。
- ・平成31年4月 吉高神 明 教授の追加。
- ・小野原 雅夫 教授の担当授業科目名の変更及び担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 樋口 良之 教授の追加。
- ・平成31年4月 高谷 (藤岡) 理恵子 教授を 飛田 操 教授に変更。担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 木暮 照正 教授の追加。
- ・平成31年4月 原野 明子 教授の追加。
- ・平成31年4月 井貫 充史 教授を 高橋 由貴 准教授に変更。担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 嶺岸 佑亮 講師の追加。
- ・末吉 健治 教授の担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 加藤 真義 教授を 西崎 伸子 教授に変更。
- ・菊地 芳朗 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 功刀 俊洋 教授の追加。
- ・平成31年4月 塩谷 弘康 教授を 福島 雄一 教授に変更。
- ・平成31年4月 藤原 進 准教授の追加。
- ・神長 裕明 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 川越 清樹 教授の追加。
- ・岡沼 信一 教授の担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 柴崎 直明 教授を 黒沢 高秀 教授に変更。担当授業科目名の変更。
- ・小室 安宏 教授の担当授業科目名の変更。
- ・田村 奈保子 教授の担当授業科目変更。
- ・平成31年4月 平手 伸昭 講師の追加。
- ・手代木 有兒 教授の担当授業科目名及び担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 井上 浩一 講師の追加。
- ・平成31年4月 池澤 實芳 講師の追加。
- ・平成31年4月 金 敬雄 准教授の追加。
- ・吉川 宏人 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 カザンツェフ・ラーダ 講師の追加。
- ・平成31年4月 クズネツォーフ・マリナー 准教授の追加。
- ・井本 亮 教授の担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 永島 恭子 講師の追加。
- ・平成31年4月 内海 哲史 准教授の追加。
- ・平成31年4月 木谷 徳智 講師の追加。
- ・平成31年4月 中山 祐貴 講師の追加。
- ・平成31年4月 三浦 浩喜 教授を 前川 直哉 特任准教授に変更。担当授業科目名及び担当授業科目の変更。
- ・佐野 孝治 教授の担当授業科目名の変更。
- ・岩崎 由美子 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 中里 真 准教授の追加。
- ・牧田 実 教授の担当授業科目名の変更。
- ・佐藤 理夫 教授の担当授業科目名の変更。
- ・片山 規央 准教授の担当授業科目名の変更。
- ・荒 知宏 准教授の担当授業科目名の変更。
- ・阪本 尚文 准教授の担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 二瓶 由美子 講師の追加。
- ・高安 徹 准教授の担当授業科目名の変更。
- ・高橋 優 准教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 グンスケフォンケルン・マルティーナ 教授の追加。
- ・平成31年4月 グンスケフォンケルン・マルクス 講師の追加。
- ・平成31年4月 神子 博明 講師の追加。
- ・平成31年4月 齋藤 寛 講師の追加。
- ・平成31年4月 オーバーボイマー・ユルゲン 講師の追加。
- ・伊藤 俊介 准教授の担当授業科目名及び担当授業科目の変更。
- ・高貝 慶隆 准教授の担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 山口 克彦 教授の追加。
- ・平成31年4月 兼子 伸吾 准教授の追加。
- ・高森 智嗣 准教授の担当授業科目名及び担当授業科目の変更。
- ・鈴木 (足立) 宇 准教授の担当授業科目名及び担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 初澤 敏生 教授の追加。
- ・平成31年4月 久我 和巳 教授の追加。
- ・平成31年4月 朱 永浩 准教授の追加。

【令和2年度】

【専任教員 関連】

・金内 誠 教授の就任辞退により、渡部 潤 准教授に変更。令和2年8月着任予定。令和2年2月教員審査済み。

【兼任・兼任教員 関連】

- ・松浦 浩子 教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・村上 雄一 教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・福富 靖之 教授の担当授業科目の変更。
- ・小野原 雅夫 教授の担当授業科目の追加。
- ・井實 充史 教授の担当授業科目名の変更。
- ・菊地 芳朗 教授の担当授業科目名の変更。
- ・神長 裕明 教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・田村 奈保子 教授の担当授業科目の変更。
- ・手代木 有兒 教授の担当授業科目の変更。
- ・吉川 宏 教授の担当授業科目の変更。
- ・井本 亮 教授の担当授業科目名の変更。
- ・高田 英和 准教授の職名を教授に変更。担当授業科目の変更。
- ・黒崎 輝 准教授の職名を教授に変更。
- ・阪本 尚文 准教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・高安 徹 准教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・高橋 優 准教授の担当授業科目の変更。
- ・伊藤 俊介 准教授の職名を教授に変更。担当授業科目の変更。
- ・鈴木（足立）学 准教授の転出。後任を令和2年10月採用で公募中。
- ・工藤 孝幾 特任教授（兼任）の職名を講師（兼任）に変更。
- ・杉浦 弘一 准教授の担当授業科目の追加。
- ・佐々木 俊彦 教授の担当授業科目の変更。
- ・吉高 神明 教授の担当授業科目の変更。
- ・飛田 操 教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・木暮 照正 教授の担当授業科目名の変更。
- ・原野 明子 教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・高橋 由貴 准教授の担当授業科目の追加。
- ・川越 清樹 教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・金 敬雄 准教授の担当授業科目の追加。
- ・グズネツオーフ マリーナ 准教授の担当授業科目の追加。
- ・内海 哲史 准教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・グズケフォンケルン マルティーナ 教授の担当授業科目の変更。
- ・令和2年4月 佐久間 康之 教授の追加。
- ・令和2年4月 高木 修一 准教授の追加。
- ・令和2年4月 朝賀 俊彦 教授の追加。
- ・令和2年4月 後藤 史子 特任教授の追加。
- ・令和2年4月 半沢 康 教授の追加。
- ・令和2年4月 佐藤 佐敏 教授の追加。
- ・令和2年4月 澁澤 尚 教授の追加。
- ・令和2年4月 中川 祐治 准教授の追加。
- ・令和2年4月 阿部 浩一 教授の追加。
- ・令和2年4月 鍵和田 賢 准教授の追加。
- ・令和2年4月 菊池 智裕 准教授の追加。
- ・令和2年4月 永幡 幸司 教授の追加。
- ・令和2年4月 後藤 忍 教授の追加。
- ・令和2年4月 川崎 興太 准教授の追加。
- ・令和2年4月 三浦 一之 准教授の追加。
- ・令和2年4月 増田 正 特任教授の追加。
- ・令和2年4月 赤井 仁志 特任教授の追加。
- ・令和2年4月 齊藤 公彦 特任教授の追加。
- ・令和2年4月 佐藤 義久 特任教授の追加。
- ・令和2年4月 小井土 賢二 特任准教授の追加。
- ・令和2年4月 金井 光生 准教授の追加。
- ・令和2年4月 猪俣 慎二 教授の追加。
- ・令和2年4月 中川 和重 准教授の追加。
- ・令和2年4月 遠藤 明子 准教授の追加。
- ・令和2年4月 和田 正樹 准教授の追加。
- ・令和2年4月 十河 利明 教授の追加。
- ・令和2年4月 中村 恵子 教授の追加。
- ・令和2年4月 難波 謙二 教授の追加。
- ・令和2年4月 塚田 祥文 教授の追加。
- ・令和2年4月 ヴァンル ヨンエンコ 教授の追加。
- ・令和2年4月 和田 敏裕 准教授の追加。
- ・令和2年4月 脇山 義史 講師の追加。
- ・令和2年4月 平尾 茂一 講師の追加。
- ・令和2年4月 高田 兵衛 特任准教授の追加。
- ・令和2年4月 石庭 寛子 特任助教の追加。
- ・令和2年4月 横島 善子 産学官連携教員の追加。
- ・ロナルド・ブレント・スコット 講師の担当授業科目の変更。
- ・長谷川 明子 講師の担当授業科目の変更。
- ・安藤 勝夫 講師の担当授業科目の変更。
- ・嶺岸 佑亮 講師の担当授業科目の追加。
- ・グズケフォンケルン マルクス 講師の担当授業科目の変更。
- ・神子 博昭 講師の担当授業科目の変更。
- ・齋藤 寛 講師の担当授業科目の追加。
- ・オーバーボイマー ユルゲン 講師の担当授業科目の変更。
- ・井上 浩一 講師の担当授業科目の追加。
- ・池澤 實芳 講師の担当授業科目の追加。
- ・カザンツェフ ラーダ 講師の担当授業科目の追加。
- ・永島 恭子 講師の担当授業科目の追加。
- ・令和2年4月 三澤 文紀 講師の追加。
- ・令和2年4月 寺本 弘子 講師の追加。
- ・令和2年4月 レジス ドラビゾン 講師の追加。
- ・令和2年4月 伊藤 由美 講師の追加。
- ・令和2年4月 吳 怡芬 講師の追加。
- ・令和2年4月 解 澤春 講師の追加。
- ・令和2年4月 梁 妮淑 講師の追加。
- ・令和2年4月 朴 相賢 講師の追加。
- ・令和2年4月 村重 慎一郎 講師の追加。
- ・令和2年4月 飯澤 拓 講師の追加。

【令和3年度】

【専任教員 関連】

・市川 貴大 准教授退職。令和4年1月後任採用予定。

【兼任・兼任教員 関連】

- ・小川 宏 教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・松浦 浩子 教授の担当授業科目の変更。
- ・福富 靖之 教授の担当授業科目の変更。
- ・小野原 雅夫 教授の担当授業科目の変更。
- ・岡沼 信一 教授（兼任）の職名を特任教授（兼任）に変更。担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・田村 奈保子 教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・手代木 有兒 教授の担当授業科目の変更。
- ・本田 修啓 教授退職。
- ・木村 勝彦 教授の担当授業科目の変更。
- ・高橋 優 准教授の担当授業科目の変更。
- ・伊藤 俊介 教授の担当授業科目の変更。
- ・吉高 神明 教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・飛田 操 教授の担当授業科目の変更。
- ・木暮 照正 教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・前川 直哉 特任准教授の担当授業科目の変更。
- ・グンスケフォンケルン マルティーナ 教授の担当授業科目の変更。
- ・高木 修一 准教授の担当授業科目の変更。
- ・朝賀 俊彦 教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・中川 祐治 准教授退職。
- ・永幡 幸司 教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・後藤 忍 准教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・川崎 興太 准教授（兼任）の職名を教授（兼任）に変更。担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・三浦 一之 准教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・増田 正 特任教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・佐藤 義久 特任教授退職。
- ・小井土 賢二 特任准教授退職。
- ・金井 光生 准教授（兼任）の職名を教授（兼任）に変更。担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・猪俣 慎二 教授の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・遠藤 明子 准教授（兼任）の職名を教授（兼任）に変更。
- ・脇山 義史 講師（兼任）の職名を准教授（兼任）に変更。
- ・平尾 茂一 講師（兼任）の職名を准教授（兼任）に変更。
- ・令和3年4月 松本 正晴 准教授の追加。
- ・令和3年4月 中山 明 教授の追加。
- ・令和3年4月 山崎 暁彦 准教授の追加。
- ・令和3年4月 大川 裕嗣 准教授の追加。
- ・令和3年4月 横尾 善之 教授の追加。
- ・令和3年4月 高橋 有紀 准教授の追加。
- ・令和3年4月 本嶋 良恵 講師の追加。
- ・令和3年4月 鶴巻 正子 教授の追加。
- ・令和3年4月 鈴木 典夫 教授の追加。
- ・令和3年4月 横島 浩 教授の追加。
- ・令和3年4月 小松 賢司 准教授の追加。
- ・令和3年4月 徳竹 剛 准教授の追加。
- ・令和3年4月 馬場 一晴 准教授の追加。
- ・令和3年4月 篠田 伸夫 教授の追加。
- ・令和3年4月 杉森 大助 教授の追加。
- ・令和3年4月 吳 書雅 特任准教授の追加。
- ・令和3年4月 佐藤 元樹 准教授の追加。
- ・令和3年4月 狩野 剛 特任助教の追加。
- ・ロナルド プレント スコット 講師の担当授業科目の変更。
- ・長谷川 明子 講師の担当授業科目の変更。
- ・安藤 勝夫 講師の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・平手 伸昭 講師の担当授業科目の変更。
- ・グンスケフォンケルン マルクス 講師の担当授業科目の変更。
- ・神子 博昭 講師の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・齋藤 寛 講師の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・オーバーボイマー ユルゲン 講師の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・三澤 文紀 講師の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・寺本 弘子 講師の担当授業科目の変更。
- ・染 姫淑 講師の担当授業科目の変更。
- ・飯澤 拓 講師の担当授業科目の変更（担当なし）。
- ・令和3年4月 紙谷 智彦 講師の追加。
- ・令和3年4月 板倉 雄一郎 講師の追加。
- ・令和3年4月 加藤 英夫 講師の追加。
- ・令和3年4月 片山 拓央 講師の追加。
- ・令和3年4月 古川 寛 講師の追加。
- ・令和3年4月 鳥居 由葵 講師の追加。
- ・令和3年4月 鈴木 正人 講師の追加。
- ・令和3年4月 長沼 秀徳 講師の追加。
- ・令和3年4月 吉田 利彦 講師の追加。
- ・令和3年4月 金丹 講師の追加。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
17	21	0	0	38	0	16	21	0	0	37	0
(12)	(15)	(0)	(0)	(27)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
16	21	0	0	37	0	17	21	0	0	38	0
[Δ 1]	[ ]	[ ]	[ ]	[Δ 1]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	[ ]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{37}{38} = \boxed{97.36} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{37} = \boxed{5.4} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
1	准教授	宮井 浩志	H30.9	必修	農業経営概論 ※	①	H30.9疾病のため就任辞退（H30）		
				必修	食農情報処理演習 ※	①			
				選択	農産物流通論	①			
				必修	食農実践演習Ⅰ	①			
				必修	農業経営学演習Ⅰ ※	①			
				必修	食農実践演習Ⅱ	①			
				選択	アグリビジネス論 ※	①			
				必修	農業経営学演習Ⅱ ※	①			
				必修	食農実践演習Ⅲ	①			
				必修	卒業研究基礎演習	①			
				必修	卒業研究演習Ⅰ	①			
				必修	卒業研究演習Ⅱ	①			
				必修	卒業論文	①			
				2	教授	金内 誠		R元.9	必修
必修	キャリアモデル学習 ※	②							
選択	発酵・醸造学Ⅰ	①							
必修	食農実践演習Ⅰ	①							
選択	インターンシップ	①							
必修	食品科学実験Ⅰ ※	①							
必修	食農実践演習Ⅱ	①							
必修	食品科学実験Ⅱ ※	①							
必修	食農実践演習Ⅲ	①							
必修	卒業研究基礎演習	①							
必修	卒業研究演習Ⅰ	①							
必修	卒業研究演習Ⅱ	①							
必修	卒業論文	①							
合計（D）							後任補充状況の集計（E）		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	22 科目	必修	21 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	4 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	26 科目	計	25 科目	計	1 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	准教授	市川 貴大	R3.3	必修	生産環境科学概論 ※	③	R3.3.31疾病のため辞任（R3）		
				必修	キャリアモデル学習 ※	③			
				選択	樹木学	②			
				必修	食農実践演習Ⅰ	①			
				選択	インターンシップ	①			
				選択	森林育成学	②			
				必修	生産環境学実験・実習Ⅰ ※	③			
				必修	食農実践演習Ⅱ	①			
				必修	生産環境学実験・実習Ⅱ ※	③			
				必修	食農実践演習Ⅲ	①			
				必修	卒業研究基礎演習	③			
				必修	卒業研究演習Ⅰ	①			
				必修	卒業研究演習Ⅱ	①			
				必修	卒業論文	①			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	11 科目	必修	6 科目	必修	0 科目	必修	5 科目
		選択	3 科目	選択	1 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	14 科目	計	7 科目	計	2 科目	計	5 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)										
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)						
3	人	必修	33	科目	必修	27	科目	必修	1	科目	必修	5	科目
		選択	7	科目	選択	5	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	40	科目	計	32	科目	計	3	科目	計	5	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{3}{38} = \boxed{7.89} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(3) - ①番号1については、開設時までに、速やかに後任補充を行ったため、学生の履修上の影響は無かった。  
 (3) - ①番号2については、速やかに後任補充を行い、教員審査を受審済みであり、令和2年8月に就任した。  
 (3) - ②番号1については、現在、令和4年1月就任予定として後任補充のための公募を行っている。なお、就任までの間、非常勤講師が代替するため学生の履修上の影響は無い。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <農学群 食農学類>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>○農場の整備 水田予定地（14,623㎡） 畑予定地（520㎡、2,956㎡、1,088㎡、隣接地）</p> <p>○取得可能な資格 HACCP管理者</p>	<p>○農場の整備 水田（11,702㎡） 畑（2,921㎡、520㎡、2,956㎡、1,088㎡、隣接地）</p> <p>・実習田としての水田面積が十分であったため、その一部を畑に転換し、露地野菜栽培実習を拡充した。</p> <p>○取得可能な資格 当学類において取得が可能とされていた学生会員のHACCP管理者基礎資格について、令和元（2019）年度のHACCPの規程改正により、本学のカリキュラムでは令和4（2022）年度以降、対応できなくなった。そのため、当該基礎資格の取得には、1期生のみが、所定の単位を取得し、かつ、3年生までに認定審査申請をする場合に限り得ることができる。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では恒常的なFD活動を実施するため、令和元年度の全学再編時に設置した「教育推進機構 高等教育企画室」において全学FDの企画・立案を行い、その実施を全学教務協議会が担う体制に移行した。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>令和2年度、高等教育企画室会議は教育・学生担当副学長、基盤教育主管、企画室所属教員、教務課長を構成員として毎月1回の頻度で年間9回開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>1) 教育推進機構高等教育企画室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等教育政策及び実践の分析に関すること。</li> <li>・ファカルティ・ディベロップメントの取組に関すること。</li> <li>・機関調査及び学生調査に関すること。</li> <li>・その他企画室の目的を達成するために必要な業務</li> </ul> <p>2) 全学教務協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学の教務管理に関すること。</li> <li>・全学の内部質保証の実施に関すること。</li> <li>・全学の非常勤講師計画に関すること。</li> <li>・単位互換の実施に関すること。</li> <li>・学類教育と基盤教育との調整に関すること。</li> <li>・シラバス及びナンバリングに関すること。</li> <li>・学務情報統合システムに関すること。</li> <li>・その他必要と認められる事項</li> </ul> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>令和2年度は、全学的に以下の取組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 教育改善のための学生アンケート（前期開講科目・後期開講科目）を実施した。</li> </ul>
---

・令和元年度に実施した「平成28～30年度 福島大学の教育に関する卒業生・大学院修了生アンケート調査」及び「平成28～30年度 就職先企業等・公共機関に対する大学・大学院教育の成果に関するアンケート調査」の分析を行った。

・新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年度前期授業は全て遠隔授業で実施することとなったため、遠隔授業の開始前に、学生に「PCの保有状況、ネットワーク環境に関するアンケート調査」を実施した。また、前期遠隔授業の終了後、学生に「遠隔授業に関するアンケート調査」を実施した。

・全学FD研究会を開催した。

・令和3年度開講科目に係るシラバス点検を実施した。

#### b 実施方法

・令和2年度の教育改善のための学生アンケートは、前期分を7月、後期分を1月に、教務情報システムを使用してwebアンケートにより実施した。

・令和元年度に実施した「卒業生・大学院修了生アンケート」及び「就職先企業等・公共機関アンケート」は、過去3年間の学部卒業生・大学院修了生及び就職先機関を対象にwebアンケートにより実施した。

・遠隔授業の開始前に行った「PCの保有状況、ネットワーク環境に関するアンケート調査」及び遠隔授業終了後に行った「遠隔授業に関するアンケート調査」は、本学生を対象にwebアンケートにより実施した。

・全学FD研究会は、全教員を対象として開催し、基盤教育（科目グループ別）及び専門教育（学類別）の各分野について分科会形式によるカリキュラムの分析・検討を行った。また、令和2年度は遠隔授業の実施状況についても意見交換した。

・令和3年度からシラバス書式を一部見直し、令和3年度開講科目のシラバス記載状況について「シラバス記入要領」に基づき各学類・高等教育企画室の2段階で点検し、記載内容の適性化を図った。

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

・令和2年度的全学FD研究会は10/29（木）に開催し、当日192名の教員が参加した。午前には基盤教育の各科目グループ別に、午後は学類の専門教育分野別に当該カリキュラムの概要・望ましい水準・成績評価の方法・割合の状況について議論し共通理解を図った。また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として初めて遠隔授業を実施したことから、遠隔授業の実施状況やノウハウ等について、教員相互に意見交換した。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・教育改善のための学生アンケートの集計結果は科目担当者に提供され、授業改善の取組みに活用している。

・卒業生アンケート及び就職先企業等アンケートの分析結果を報告書として取りまとめ、教育研究評議会で報告した。報告書の内容は全学で情報共有し、全学レベル及び各学類レベルのFD活動に活用している。

・遠隔授業の開始前に行った「PCの保有状況、ネットワーク環境に関するアンケート調査」を踏まえて、学生向けにPC貸与やPC教室開放等の対策を講じた。また、遠隔授業期間終了後に行った「遠隔授業に関するアンケート調査」については、学生の満足度、満足・不満足のポイントやクロス集計の傾向等の分析結果が10月開催の全学FD研究会で報告され、遠隔授業について教員相互に意見交換する際の貴重な資料となった。

・全学FD研究会は、全学の教員が一堂に会してカリキュラムの課題や改善策を共有する契機となった。今後も引き続き全学レベル及び学類レベルのFD活動を展開し、授業改善を通じて教育の質の維持・向上を図ることとしている。

・シラバス点検の結果、新たなシラバス書式に沿って記載内容の適正化や成績評価基準の統一化が図られた。

### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

#### a 実施の有無及び実施時期

・本学では、各セメスター終盤に「教育改善のための学生アンケート」を実施している。令和2年度は前期分を7月に、後期分を1月に実施した。次年度以降も引き続き実施することとしている。

#### b 教員や学生への公開状況、方法等

・本学では、毎年作成する「福島大学FD活動報告書」に教育改善アンケートの集計結果を掲載してホームページ上で公開してきた。今後も引き続き実施することとしている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

福島県農業会議から本学学長への陳情書（平成25年12月）、福島県議会議長から内閣総理大臣等あての要望書（平成26年11月）、福島市と福島市農業振興審議会連名による本学学長あての要望（平成26年11月）等を受け、平成31年4月、農学群食農学類は、震災からの復興、21世紀の食料・農林業・地域の諸課題の解決に貢献できる人材の養成、および関連する分野の研究を目的として、全国有数の農業県である福島県にあって、初の学士課程の農学系教育組織として設置された。

初年度は、新たに16名の教員を採用し体制整備を図ると共に、第1期生108名を迎え、基盤教育科目と学類共通専門基礎科目を展開しつつ、本学類の特色でもある1年次からの必修の実習科目「農場基礎実習」を実施した。また、夏・秋のオープンキャンパスでの学類説明会の開催や、県内外への高校訪問、模擬授業の実施など、次年度の入学者確保に向けた広報活動を積極的に展開したほか、次年度後期からの農学実践型教育の実施に向けて、対象フィールドとなっている各自治体とプログラムの研究開発や準備を進めた。令和2年1月末には、期成同盟会の支援や農学支援基金により建設を進めていた食農学類研究棟および農機具庫が竣工し、同3月より供用を開始した。

2年目となる令和2年度は、4月1日付で新たに9名の教員を採用、8月1日付で1名を採用し教員組織が完成した。学生は第2期生として100名を迎えることができた。前期は、コロナ禍に伴う遠隔授業という制限の中で、WEB配信を活用した「農場基礎実習Ⅰ」（1年次生対象）を行うなど工夫に努め、後期は感染防止対策を講じ対面授業を12月まで実施した。2年次生は、後期から農学専門教育として「4つの専門コース」に分かれると同時に、コース混成チームによる農学実践型教育として地域課題解決に向けた県内フィールドを対象とした「食農実践演習Ⅰ」を開始した。

コロナ禍に伴う想定外の対応を迫られつつも学年暦の変更や遠隔教育による対応など、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現出来るよう着実に取り組みを進めている。

3年目となる令和3年度は、3月31日付で教員1名の退職があり、当面は非常勤講師で代替対応をしながら、直ちに教員組織を整えるべく、1月1日付採用に向けて教員公募を開始した。また、教育面では3期生として104名を迎えた。農学実践型教育プログラムのウェブサイト公開や、地域との連携強化・継続を図るため産官学連携会議の取り組みとしてメールマガジンの定期配信も開始した。また、附属発酵醸造研究所を設置し、今後、研究成果を積み上げながら学生教育への還元を図っていく。3年次生（1期生）は、「食農実践演習Ⅱ・Ⅲ」として年間を通した福島県内フィールド実習が本格化すると共に、後期からは研究室配属を控え、食農学類での学びの集大成といえる卒業研究へ発展させていく。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

- ・直近の自己点検・評価報告書は 令和3年4月 公表

###### b 公表方法

- ・直近の自己点検・評価報告書は大学ホームページで公開（令和3年4月）  
○自己点検・自己評価＞自己点検・評価書 令和元年度年次レポートについて（総括）  
<https://www.fukushima-u.ac.jp/university/public-matters/evaluation/self.html>

##### ③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度（2021年度）に独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の大学機関別認証評価を受審

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・ 無 ]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） ]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、  
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。